

一般社団法人琉球フィルハーモニック 御中

令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業
共生社会の実現に向けた障害者等による文化芸術活動推進プロジェクト(全国型)

「ゆいまーるミュージックプロジェクト」
～美らサウンズコンサート2022Inうるま市～
に関する評価報告書

2023年3月8日

一般社団法人CoAr(コア)



目次

1. まとめ
 1. 美らサウンズコンサートの今までとこれから
 2. 評価結果のまとめ
2. 評価の目的・進め方
 1. 目的・進め方
 2. アンケート・ヒアリング項目
3. 評価結果
 1. アンケート結果(来場者用)
 2. アンケート結果(関係者用)
 3. ヒアリング結果(当日会場)
 4. ヒアリング結果(後日オンライン)

1-1. 美らサウンズコンサートの今までとこれから

美らサウンズコンサートは障害者の方を含め全ての方に向けたコンサートとして、今年で開催4回目を迎えました。2019年度より3か年与那原町で実施され、来場者の方から「ずっとこのようなコンサートをやって欲しかった」といった声を頂き、障害のある方も持たない方も、安心して参加できる場として評価されてきました。

2022年度はうるま市きむたかホールに場所を移して行われました。今回も約250名の方が来場され、アンケートで9割以上の方が「また参加したい」、「安心して参加できた」、「多様な人への理解が深まった」、「今後芸術文化の機会を増やしたいと思った」と回答しています。また、コンサートを制作する側のスタッフやボランティアの方も、アンケートで9割以上が「また参加したい」、「多様な人への理解が深まった」と回答しました。4年間の結果を見ると、普段芸術文化に触れる機会がない方々が毎年4割程度含まれていることがわかり、機会の少ない方にも来場しやすいコンサートとして認識されていることが示唆されました。また、「安心して参加できた」と回答する方は4年間、いつも9割を超えています。

美らサウンズコンサートが多くの方にとって安心して参加できるコンサートであると認識される理由は何か、今年度実施したインタビュー(当事者やご家族の方に1対1で深くお話をうかがう形式)からその理由がわかってきました。一般のコンサートと比較すると、美らサウンズコンサートの特徴として①行くまでのハードルが低い(暗黙の裡に感じる不安のなさ)、②移動や座席選択の柔軟性が高い、③多様性を受け入れている土壌がある、といったことが挙げられました。一般のコンサートでは、楽しめないかもしれないという漠然とした不安から、前日に行くのを辞めてしまうこともあるという一方、美らサウンズコンサートでは事前に迷うこともなく、会場に着いた瞬間からその声掛けやサポートの多さに、会場を移動するだけで既に感動がある、といった声がありました。また、待つ時間がないので知的障害のある子どもが不機嫌になるなどの心配がない、という声もありました。単に物理的にバリアフリーであることや障害者のためと書くというだけでなく、コンサートに関わる全ての人が、互いに安心して楽しめるよう思いやれる関係性を作ることが、安心してコンサートの実現に重要なのだと示唆されました。

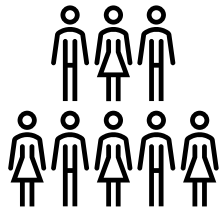
丁寧な設計と運営が可能な理由は2つあると考えられます。1つは、障害のある方や支援団体の方、行政、大学の方など多様なメンバーで構成される「プロジェクトメンバー」が対話を繰り返し、その上で多くのボランティアの方々と共にこのコンサートを作り上げていることです。写真を撮られたくない方にはリボンを渡す、入り口に数多くの学生ボランティアがいて、声掛け・サポートを迅速に行うなどといったきめ細やかな動きはこうした体制がなければ実現できないことだと考えられます。もう1つは毎回振り返りし、改善をし続けているということがあげられるでしょう。来場者からの声を真摯に振り返り、例えばコロナ禍でもオンライン配信を組み合わせる(2021年度はうるま市でオンライン配信を実施) など、新たな挑戦を続けています。

平成30年に障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が公布、施行され、「国民が障害の有無にかかわらず、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるよう、障害者による文化芸術活動を幅広く促進すること」、「住民が心豊かに暮らすことのできる住みよい地域社会の実現に寄与すること」などが基本理念として掲げられています。美らサウンズコンサートの実施には県外からも関心が寄せられ、2022年には、新潟市アーツカウンシルからの協力依頼により、本アンケートが障害者向けの音楽ワークショップのアンケートに参考に活用されました*。このような広がりや、本コンサートが多くの人と共にコンサートにおけるあらゆる障害を想像しながら、コンサートの在り方を考え、一つ一つ丁寧に実施してきたからだと考えます。

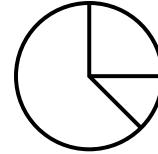
今回も来場者の方から、毎年の楽しみになっている、有料になってもいいからぜひ続いてほしい、障害者の方による美術と連携してほしいなど、期待の声が寄せられました。来年度以降も来場者やプロジェクトメンバーと共に、美しい音楽の響き合う「美らサウンズコンサート」を作ってゆくののだと思います。引き続き沖縄県内で実施してゆくと共に、類似の取り組みをする県内外の組織や個人に共有してゆくことで、障害のある方にとってより多くの機会が開かれること。そして、障害の有無に関係なく、コンサートに来ることで日々を前向きに、元気に過ごす方が増えてゆくことを期待します。

1-2. 評価結果のまとめ

参加人数



来場者 **248名**
 出演者 **85名**
 ボランティア **39名**



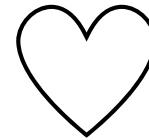
日ごろ芸術文化の機会がある

59%

コンサートにまた参加したい



来場者 **99%**
 関係者 **97%**



安心して参加できた

来場者 **96%**

バリアフリーへの意識が高まった

関係者 **75%**

多様な人への理解が深まった



来場者 **94%**
 関係者 **91%**



今後芸術文化の機会を増やしたいと思った

来場者 **93%**

新しい取り組みを試みたいと思った

関係者 **76%**

2-1. 目的・進め方

目的

観客や関係者の声を聴き、コンサートについての成果や課題を明らかにすることで

1. よりよい事業を行うため
2. 他の組織や地域など、より広域に広げてゆくため

大切にしたこと

- プロジェクトメンバーとの対話
- 障害者の方からの直接の声を聴くこと


進め方

観客や関係者の声を詳細に把握するため

1. 観客および関係者へのアンケート調査
 2. 観客へのヒアリング調査(当日会場にて5~15分、後日オンラインにて30~40分)
- を実施した

2-2. アンケート・ヒアリング項目

来場者用アンケート

<p>アンケートは、ウェブからもご回答いただけます→ https://forms.gle/221dqZeYD38xnTI98</p>  <p>ちゆ らいじょうしや 美らサウンズコンサート 2022 in うるま市 来場者アンケート</p> <p>本日はお越しいただき誠にありがとうございます。今後のより良い活動のために皆様の声をお聞かせください。ご自身でのご回答が難しい場合には、ご家族の方、介助者・ヘルパーの方によるご回答で構いません。回答は5分程度でおわります。アンケートは、一般社団法人琉球フィルハーモニックが実施しております。</p> <p>本日のコンサートの感想、今後の要望等を自由に文章や絵などでかいてください。</p> <p>あてはまる番号に、○をつけてください。</p> <p><u>あなたについて、教えてください。</u></p> <p>【1】回答される方の、年齢を教えてください。</p> <p>1. 6歳未満 2. 6～12歳 3. 13～19歳 4. 20歳代 5. 30歳代 6. 40歳代 7. 50歳代 8. 60歳代 9. 70歳代 10. 80歳以上</p> <p>【2】あなたのお住まいを教えてください。</p> <p>1. うるま市内 2. うるま市内以外の沖縄県(市・町・村) 3. その他の都道府県() 4. 海外()</p> <p>【3】障害の有無、関係について教えてください。</p> <p>1. 障害・難病のある方 2. ご家族の方 3. 介助者・ヘルパーの方 4. その他()</p>	<p>【4】障害・難病のある方は、種別についてお答えください。</p> <p>1. 肢体不自由 2. 視覚 3. 聴覚 4. 内部 5. 音聲、言語、咀嚼機能 6. 知的 7. 発達 8. 精神 9. 難病 10. その他()</p> <p>【5】車いすの利用有無について教えてください。</p> <p>1. ある 2. ない</p> <p><u>コンサートの参加の方法、経緯について教えてください。</u></p> <p>【6-1】過去(2019～2021年度)の美らサウンズコンサートには参加されましたか。</p> <table border="1"> <tr> <td>2019年度</td> <td>1. はい</td> <td>—</td> <td>2. いいえ</td> </tr> <tr> <td>2020年度</td> <td>1. はい(会場)</td> <td>2. はい(オンライン配信)</td> <td>3. いいえ</td> </tr> <tr> <td>2021年度</td> <td>1. はい(会場)</td> <td>2. はい(オンライン配信)</td> <td>3. いいえ</td> </tr> </table> <p>【6-2】過去のコンサート参加の有無にかかわらず、コンサートの会場での実施、オンライン配信での実施についてのご希望を教えてください</p> <p>1. コンサート会場での実施を希望 2. オンライン配信での実施を希望 3. どちらもあるとよい 4. わからない</p> <p>【6-3】【6-2】の質問についてその理由、ご意見があれば教えてください(オンラインだと気軽に参加できてよい、会場の方が魅力的である、など)</p> <p>【7】今回のコンサートについて、どのように情報を知りましたが。</p> <p>1. チラシ・ポスター 2. ウェブ(ホームページ、SNS等) 3. 家族・知人の紹介 4. 昨年度のコンサートで知っていた 5. 新聞 6. うるま市の広報 7. その他()</p> <p>【8】どなたとご一緒に参加したか、教えてください。</p> <p>1. ご友人 2. ご家族の方 3. 介助者・ヘルパーの方 4. その他()</p> <p>【9】どのように会場までいらっしゃいましたか。</p> <p>1. 自家用車で 2. 施設の送迎車で 3. タクシーで 4. その他()</p> <p>【10】ご来場や駐車等で気になった点がある場合には教えてください。</p> <p>来場: 1. 問題なかった 2. 気になった点がある 駐車: 1. 問題なかった 2. 気になった点がある</p>	2019年度	1. はい	—	2. いいえ	2020年度	1. はい(会場)	2. はい(オンライン配信)	3. いいえ	2021年度	1. はい(会場)	2. はい(オンライン配信)	3. いいえ
2019年度	1. はい	—	2. いいえ										
2020年度	1. はい(会場)	2. はい(オンライン配信)	3. いいえ										
2021年度	1. はい(会場)	2. はい(オンライン配信)	3. いいえ										

2-2. アンケート・ヒアリング項目

来場者用アンケート

【11】【10】で、特に気になった点があれば、教えてください。

音楽や芸術に関する経験について、教えてください。

【12】日頃、音楽・演劇・美術などの芸術文化を鑑賞したり参加したりする機会・場が充実していると思いますか。

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【13】日頃、どのくらいの頻度で音楽・演劇・美術などの芸術文化を鑑賞したり参加したりしますか。

1. 今回が初めて 2. 年に1回程度 3. 年に1~2回程度 4. 年に3~5回程度 5. 年に6回以上

【14】今までに、音楽を演奏した経験はありますか。

1. ある 2. ない

【15】【12】~【14】でそのように選んだ理由があれば、教えてください。

コンサートに関する感想を、教えてください。

【16】このコンサートが、ご自身にとって芸術文化鑑賞の新しい機会となりましたか。

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【17-1】コンサートを安心して楽しみましたか。

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【17-2】特に演奏に参加することは、楽しみましたか。(音楽療法コーナー)

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【18】コンサートで、気になった点があれば教えてください。

- | | | |
|-----|-----------|--------------|
| 音量: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |
| 座席: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |
| 時間: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |

- | | | |
|----------------|-----------|--------------|
| バリアフリー対応: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |
| 障害への配慮: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |
| スタッフの対応: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |
| 新型コロナウイルスへの対応: | 1. 問題なかった | 2. 気になった点がある |

【19】【18】で、特に気になった点を教えてください。

【20】コンサートに参加し、多様な人との理解が深まったと感じますか。

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【21】コンサートに、また参加したいと思いましたが。

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【22】コンサートに参加し、今後音楽・演劇・美術などの芸術文化の鑑賞・参加を始めたい、もしくは増やしたいと思いましたが。

1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【23】今回のコンサートは無料でしたが、有料でも参加したいと思いましたが。また、有料の場合、いくらだと参加したいですか。

1. 有料では参加したくない 2. ~500円までなら参加したい 3. ~1,000円までなら参加したい 4. 1,000円以上でも参加したい

【24】今後、演奏を聴いてみたい曲やアーティストのご希望があれば、ぜひ教えてください。(複数選択可)

1. クラシック 2. 映画音楽 3. その他、具体的な曲名、ゲストの方がいいは教えてください

アンケートは以上になります。近くのアンケート回収箱にお入れください。
ご協力、ありがとうございました。

一般社団法人 琉球フィルハーモニック

2-2. アンケート・ヒアリング項目

関係者用アンケート

Webからも回答いただけます。
<https://forms.gle/w1xe6qrM>
 bXwGFZr48

**美らサウンズコンサート
関係者アンケート**



美らサウンズコンサートの実施、お疲れ様でした。今後のより良い活動のために、皆様のお声を聞かせください。ご協力
 よろしくお願ひ申し上げます。回答は 5 分程で終わります。このアンケートは、一般社団法人琉球フィルハーモニックが実
 施しております。

今回のコンサートに関する感想、今後の希望を文章や絵で自由におかしてください。

当てはまる番号に、○をつけてください。

【1】あなたの今回の役割を教えてください。(複数回答可能です)

1. 音楽家 2. 福祉関係者 3. ボランティア 4. 行政関係者 5. ホール・制作側 6. その他
 事務局 7. その他()

【2】あなたのお住まいを教えてください。

1. うるま市 2. うるま市以外の沖縄県(市・町・村) 3. その他の都道府県()
 4. 海外()

【3-1】過去の美らサウンズコンサートに、関係者として参加されましたか。

2019年度	1. はい	2. いいえ
2020年度	1. はい	2. いいえ
2021年度	1. はい	2. いいえ

【3-2】過去のコンサート参加の有無にかかわらず、会場での実施、オンライン配信でのコンサートについてご意見があれ
 は教えてください(会場での実施は○、オンライン配信の課題として○、同時配信だと○である、など)

【4】あなたの今回の関わった部分で当てはまるものを全てを教えてください。

1. リハーサル 2. コンサート 3. リハーサル以外のコンサート前の準備期間

【5】今まで、障害者・難病の方との関わりを持ったこと、障害者・難病の方に向けた活動に参加したことがありますか。
 1. 全くない、今回が初めて 2. 1度だけ 3. 複数回ある 4. 日常的にある(ご家族にいらっしゃる、お仕事など)

【6】コンサートに参加し、バリアフリーという考え方に関して意識の変化がありましたか。
 1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【7】それは、どのような変化でしたか。

【8】コンサートに参加し、多様な人との理解が深まったと感じますか。
 1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【9】このようなコンサートを、また実施したい・また参加したいと思いませんか。
 1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【10】コンサートを実施した経験を活かして、今後、新しい取り組みをしたいと思いませんか。
 1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【11】今回のプロジェクトでは、関わるメンバーがそれぞれの意見を言いやすい雰囲気だったと思いませんか。
 1. そう思う 2. 少しそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

【12】新型コロナウイルスへの対策について気になる点があったか、教えてください。
 1. 問題なかった 2. 気になった点がある

【13】【11】、【12】で、特に気になった点を教えてください。

【14】昨年度までも関係者として参加された方にうかがいます。昨年度と比べて、良かった点、気になった点があれば教えてください。
 運営: 1. 今年度の方がよかった 2. どちらでもない 3. 昨年度の方がよかった 4. わからない
 内容: 1. 今年度の方がよかった 2. どちらでもない 3. 昨年度の方がよかった 4. わからない
 雰囲気: 1. 今年度の方がよかった 2. どちらでもない 3. 昨年度の方がよかった 4. わからない

【15】自由に感想をお書きください(良かった・悪かった点等、今後の取り組みに関する要望等)。

アンケートは以上になります。事務局の方にお渡しください。ご協力、ありがとうございました。
 一般社団法人琉球フィルハーモニック

2-2. アンケート・ヒアリング項目

ヒアリング項目

- 1 美らサ운ズコンサートに参加した理由
- 2 美らサ운ズコンサートに参加した感想・様子
- 3 他のコンサート等の今までのご経験について
- 4 他のコンサートについて思うこと
- 5 美らサ운ズコンサートへの要望
- 6 音楽活動や芸術活動のあり方のご希望について
- 7 障害について
- 8 その他

3. 結果概要

アンケート結果

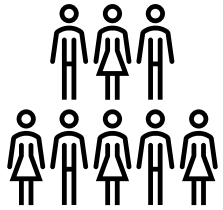
1	来場者用 アンケート	回答数: 97 1 Google経由:4 2 紙:93
---	---------------	-----------------------------------

2	関係者用 アンケート	回答数: 64 1 Google経由:55 2 紙:9
---	---------------	-----------------------------------

ヒアリング結果

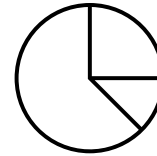
3	当日会場にて (5分~15分ずつ)	回答数: 2組 1 子3名(1人知的障害者)、 母親。母親が回答 2 知的障害者の方、母親。障 害者の方が回答
4	後日オンライン にて (30分~40分ずつ)	回答数: 3組 1 子が知的障害、母親が回答 2 子が知的障害、母親が回答 3 盲学校元教諭

3. 結果概要(来場者)



参加人数

248名



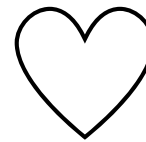
日ごろ芸術文化の機会がない方

59%



コンサートにまた参加したい

99%



安心して参加できた

96%



多様な人への理解が深まった

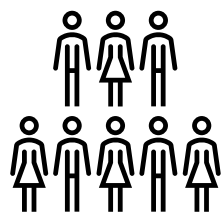
94%



今後芸術文化の機会を増やしたいと思った

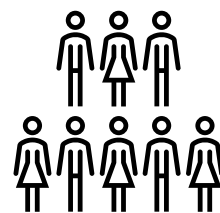
93%

3. 結果概要(関係者)



出演者

85名



ボランティア

39名



コンサートにまた参加したい

97%



バリアフリーへの意識が高まった

75%



多様な人への理解が深まった

91%

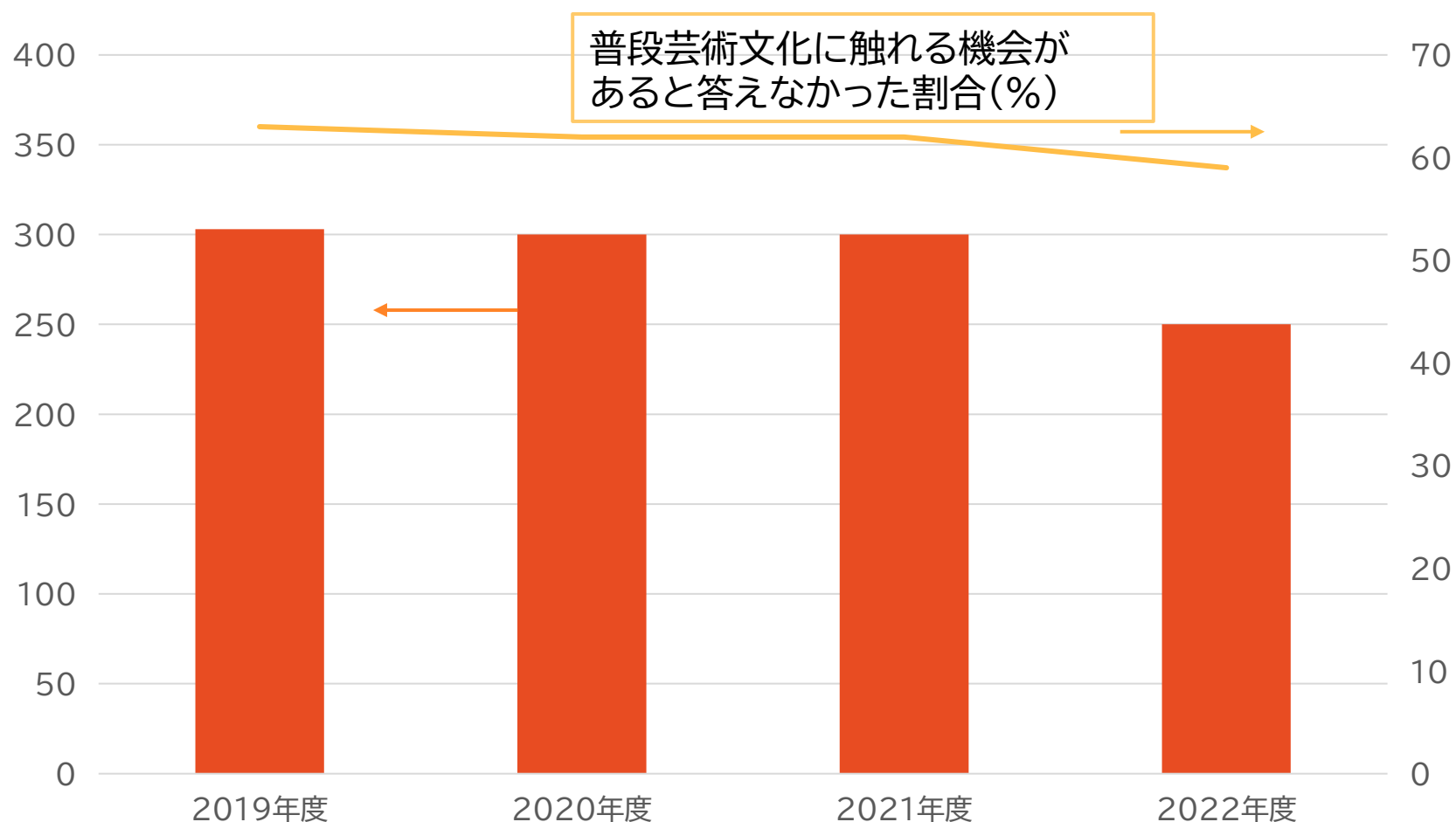


新しい取り組みを
してみたいと思った

76%

3. 主要結果の4か年の推移(来場者)

来場者数はホールや場所の違いによらず毎年数百名規模を維持し、普段機会のない方へも約60%が来場している

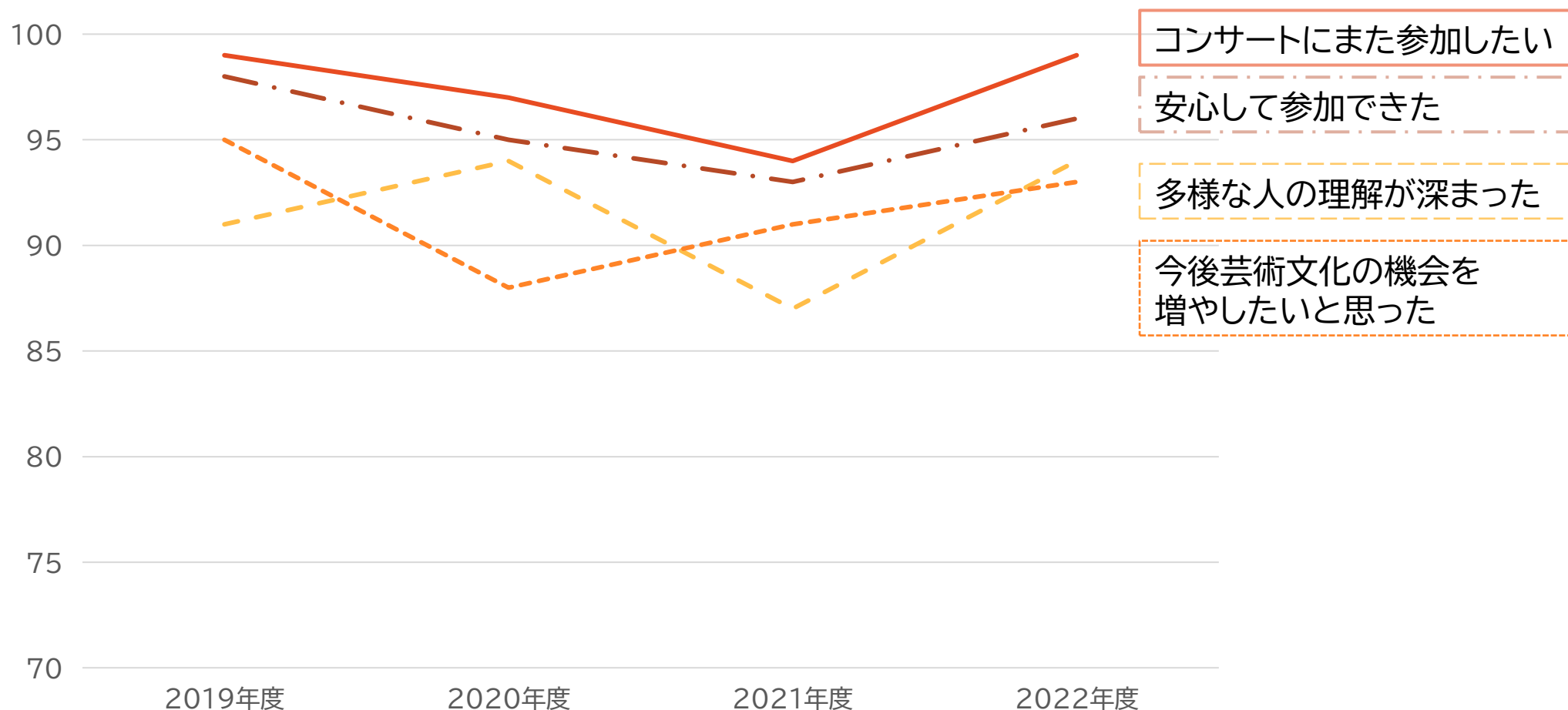


来場者数
(人)

普段芸術文化に触れる機会があると答えなかった割合(%)

3. 主要結果の4か年の推移(来場者)

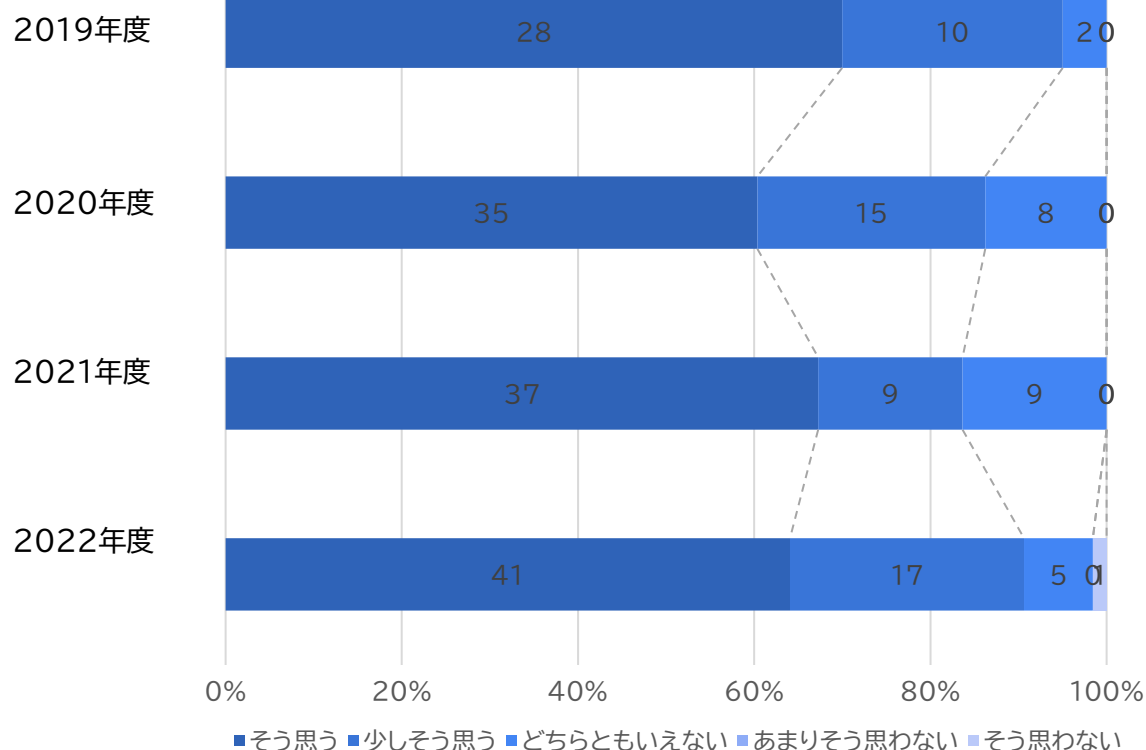
来場者は主要な項目についていずれも85%を超える肯定的な回答を維持しており、中でも「コンサートにまた参加したい」、「安心して参加できた」は90%以上を常に維持している



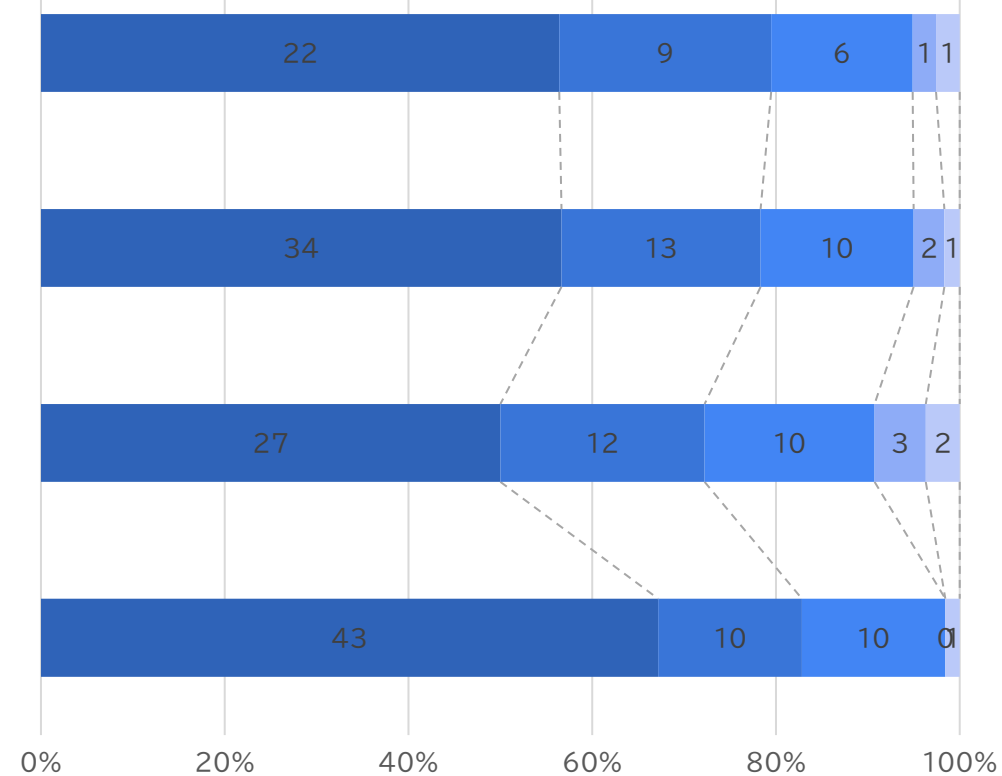
3. 主要結果の4か年の推移(関係者)

関係者は多様な人との理解が深まったという項目、プロジェクトメンバーの雰囲気に関する項目について、毎年度8割以上が肯定的な回答をしている

コンサートに参加し、多様な人との理解が深まったと感じますか

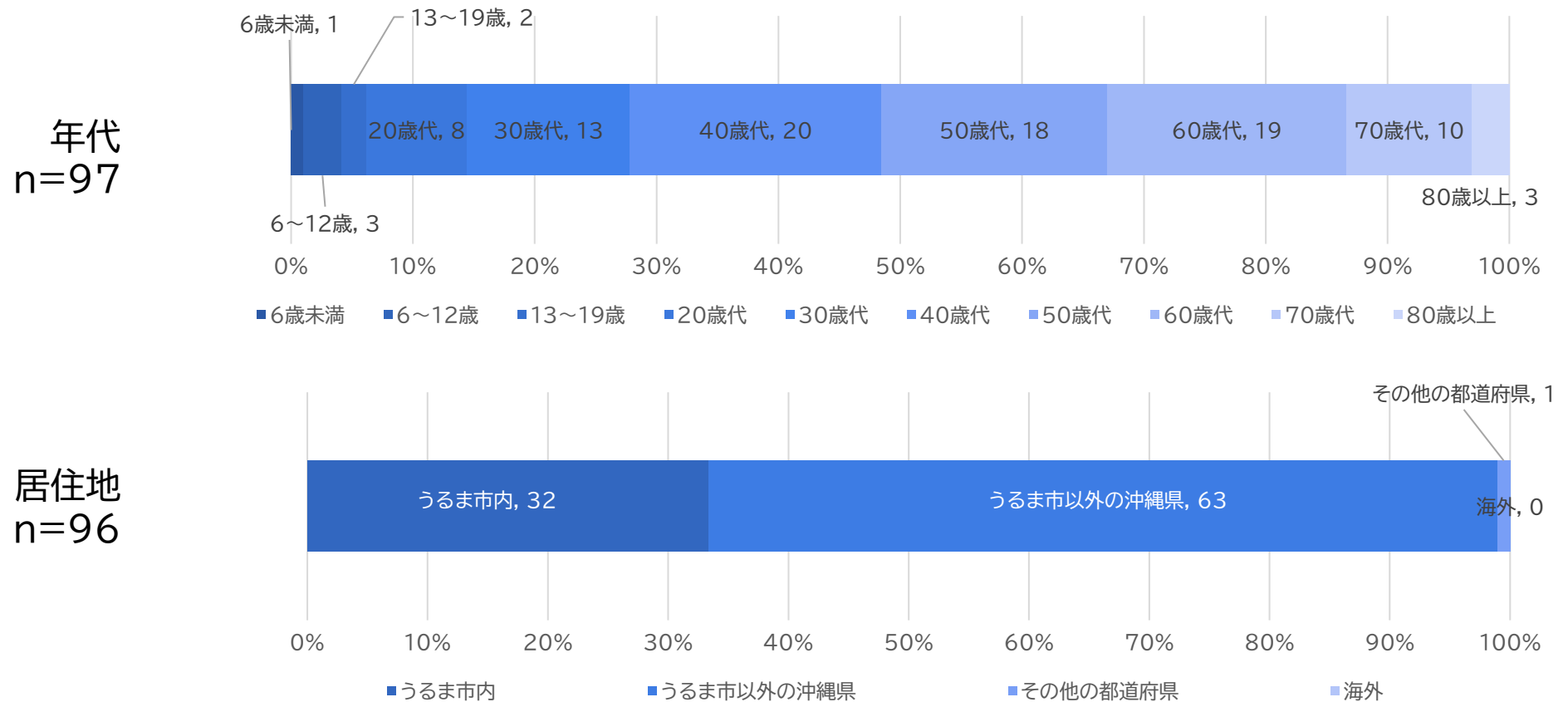


今回のプロジェクトでは、関わるメンバーがそれぞれの意見を言いやすい雰囲気だったと思いますか



来場者の方の属性

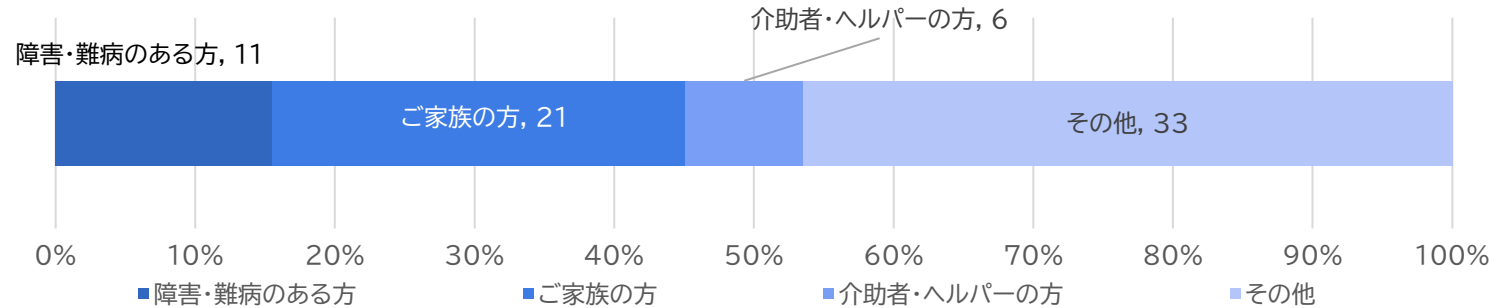
40歳代～60歳代が約2割ずつと最も多く、居住地はうるま市だけで約3割を占める



来場者の方の属性

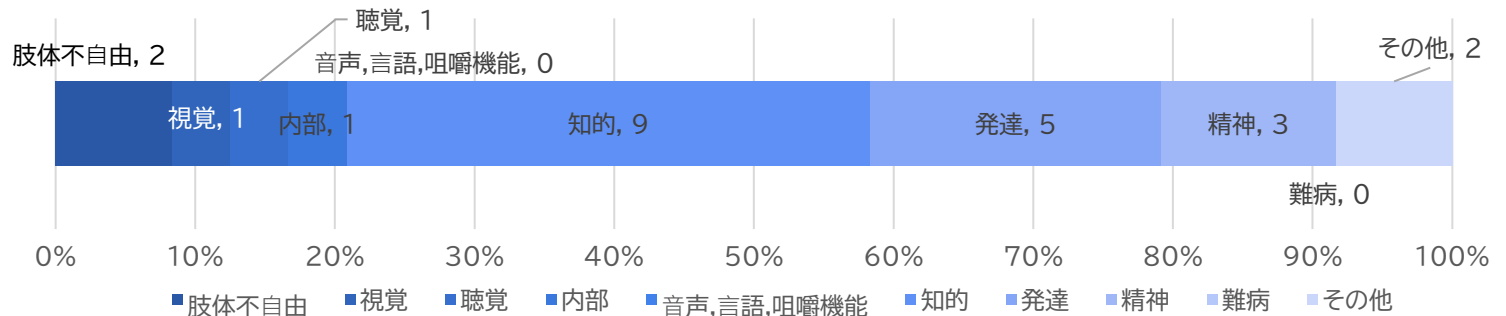
障害・難病のある方とそのご家族、介助者の方で5割を超える
知的障害、次いで発達障害のある方が最も多く、約6割であった

障害の有無、関係性
n=71

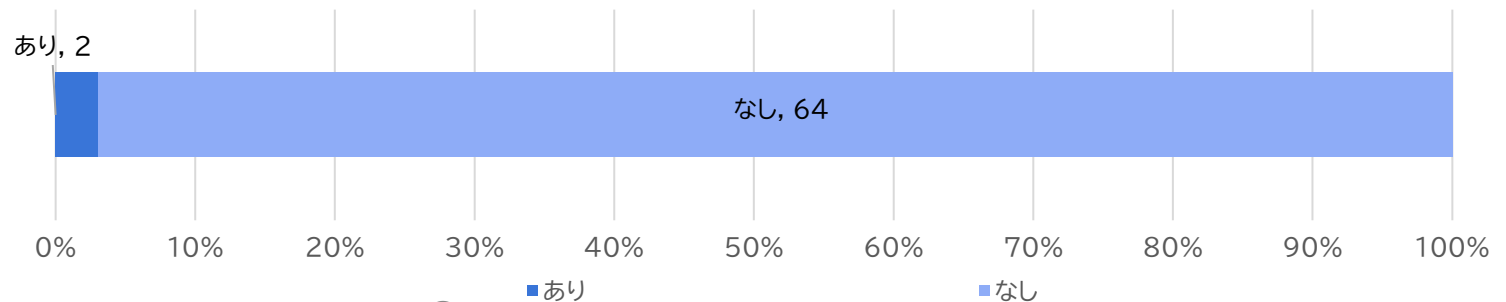


障害の種別
n=24

(複数回答、障害のある方の回答11、
その他本人以外の回答の方含む)



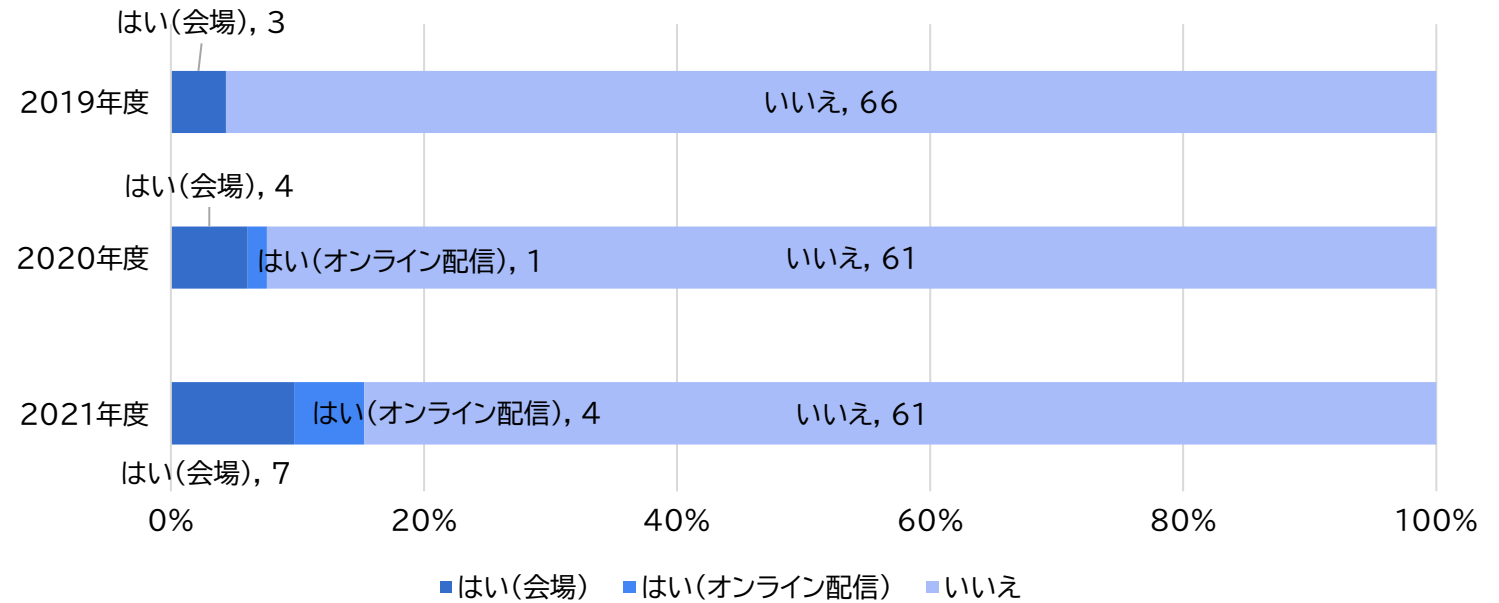
車いす利用の有無
n=66



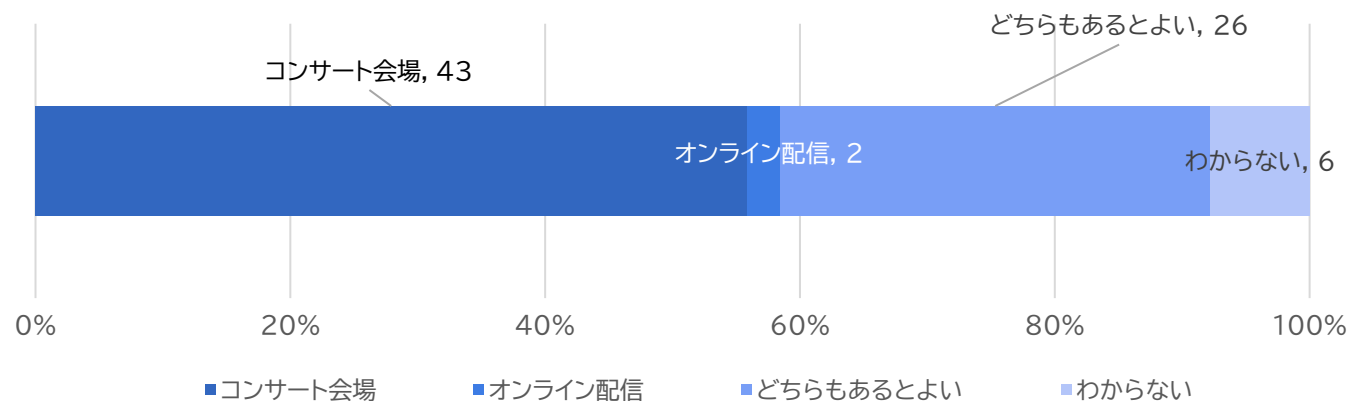
コンサートへの参加経験・意向

以前の参加がある方は数名おり、2名は4回連続、3名は3回参加していた
 コンサートの在り方については会場希望が約6割、どちらもあるとよいが約3割であった

以前の参加の有無
 n=69,66,72



今後のコンサートの在り方
 についての希望
 n=77

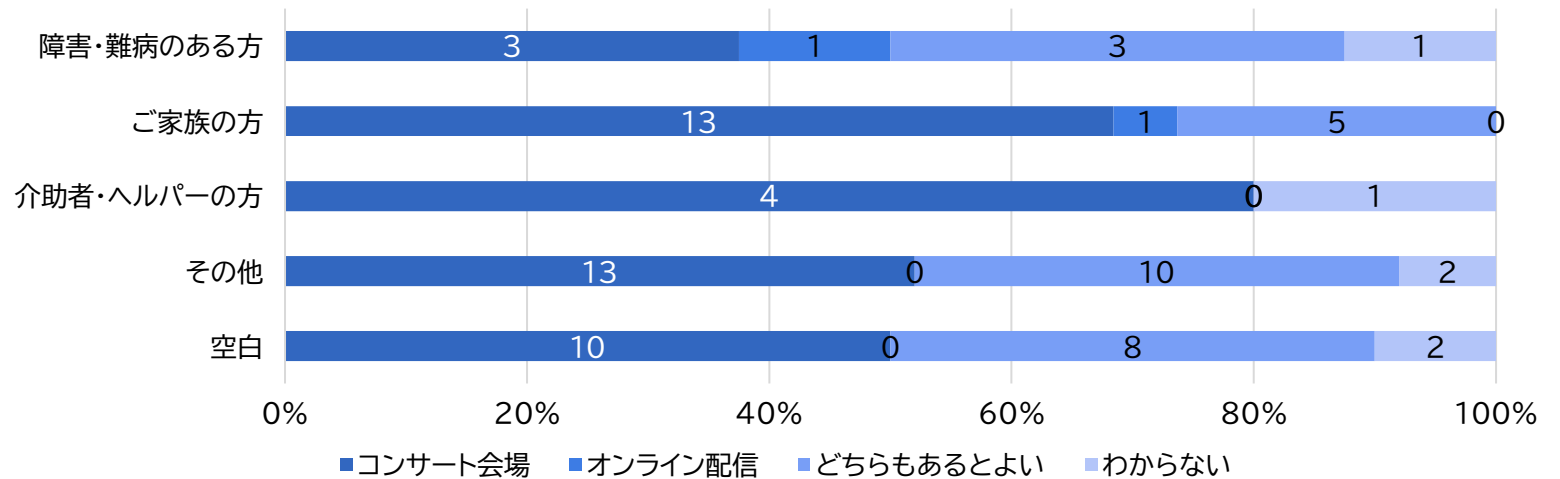


コンサートへの参加経験・意向

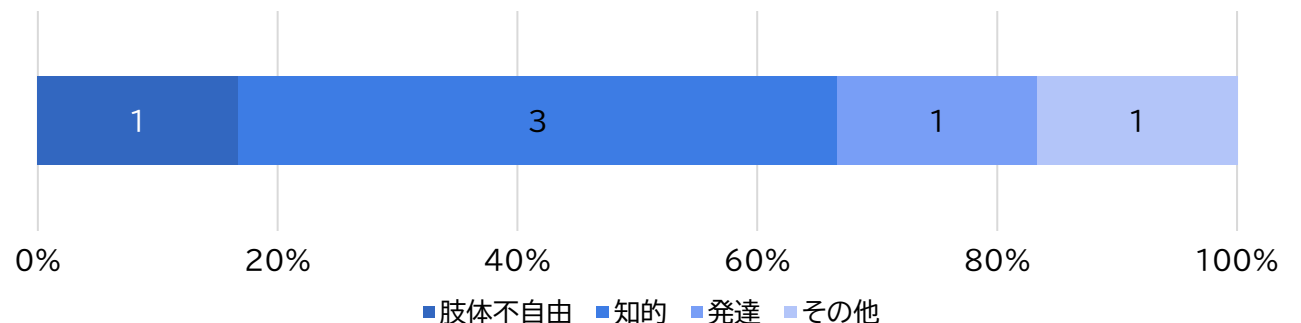
「どちらもあるとよい」を含めると、障害・難病のある方は約7割、ご家族と介助者の方は9割以上、会場での実施を希望し、オンラインのみを希望したのは2名のみであった

オンラインのみ希望は発達障害とご家族の方(種別不明)が1名ずつ、オンラインのみ又はどちらもあるとよいとした方で障害の種別が分かるのは肢体不自由1, 知的2, 発達1, その他1であった

今後のコンサートの在り方についての希望の内訳
n=77



オンラインのみ、どちらもあるとよいと答えた方で障害の種別が分かる方の内訳
n=6



コンサートへの参加経験・意向

<会場希望>と答えた人のコメント

- **生**の演奏が違う！
- **生演奏**が聴きたいです。
- 生のオーケストラの演奏を体験できる機会は、ここだけだと思う。実際のコンサートなどは、静かにじっとしていないといけない。娘には難しい。やはり生がいい。
- LIVEに限る
- 会場の方が魅力的
- 今回楽しかったから
- 本物のオーケストラの演奏をなかなか聴くことはできない中、子どもを連れてこの様に聴くことができるのはありがたい。感謝します当日の体調に関わらず参加出来るから
- 生の雰囲気味わえる。すぐ近くで迫力のある音楽がきけて、興味を持って聞いていた。画面越しよりもコンサート会場の方が関心を持って聞いていた。
- 生でみられ、**音が心まで響きとても暖かく**なりました。
- 生演奏だと障害に関係なく**五感で味わえる**と思う。小さい時からいい音いい演奏を聞かせたいと思っていたので孫と一緒に参加できました。ありがとうございます。幸せな時間でした。
- 会場直接の方が楽しいです。
- ありがとうございます。
- 音楽は生音が一番だ
- **体に響く音を感じやすい**
- 会場が良い
- 絶対会場！！
- 生の方が伝わる
- **体の音楽**を聞きたい
- 実際に音楽を感じさせてあげたい。
- ”会場だと全身で音を感じられ、別世界にいるような感じがする。”
- **LIVEの音**が素敵です。
- 音楽を肌で感じれるから

コンサートへの参加経験・意向

<オンライン希望>と答えた人のコメント

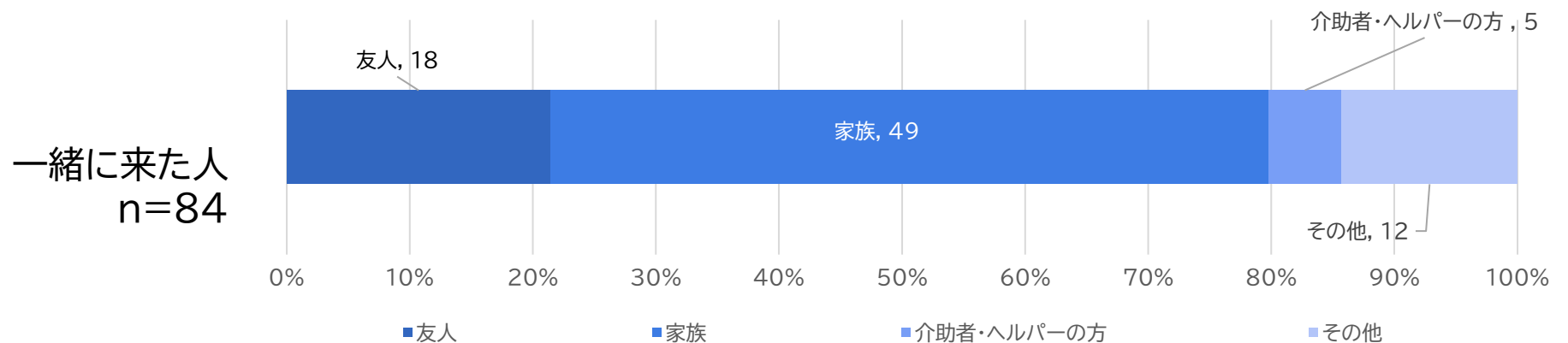
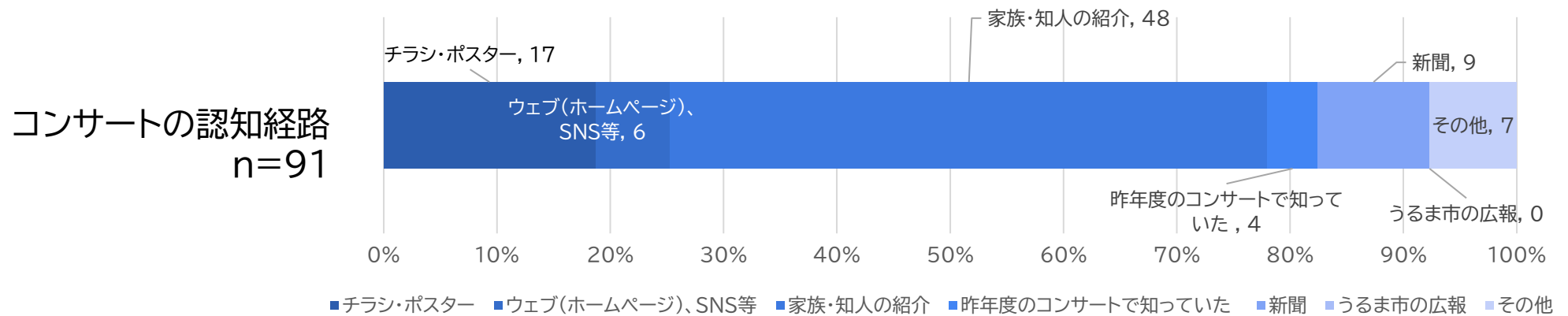
- ・ オンラインだと家でゆっくり参加できる

<どちらもあるとよい>と答えた人のコメント

- ・ 会場に行けない人がオンラインで参加出来る
- ・ 介助をなかなか得られない方が、乳児のいる家庭でもオンラインなら自宅で観覧できるため
- ・ 施設入所されている方達がまだ外出できない状況なので
- ・ 生の音をきくなら会場がいいし、地理的に会場にこれないならオンラインでもいい。
- ・ 生で聴いた方が良いが行けない場合はありがたい。
- ・ 障害があって会場に来れない方や一般の方でも仕事や私事で来れない方は会場外でも聴ける場があると気軽に宣伝もできます。
- ・ オンラインだと家でゆっくり参加できる
- ・ オンラインだと万が一体調不良で行けなくなっても家で楽しめるのでどちらもあると良い。
- ・ 会場の方が魅力的ではあるが現地に赴けない方への配慮としてオンライン配信もあった方が良い。
- ・ 選択肢があると参加しやすい
- ・ やっぱり会場で生で楽器の音を聴きたい。障がいがあって足を運ぶのが難しい人にはオンラインもあると良い
- ・ 会場に行けない人もオンラインだと見れるし、会場でも見れたらいいから
- ・ 会場に来られない人もいるのでオンラインがあると会場の一員になれると思います。

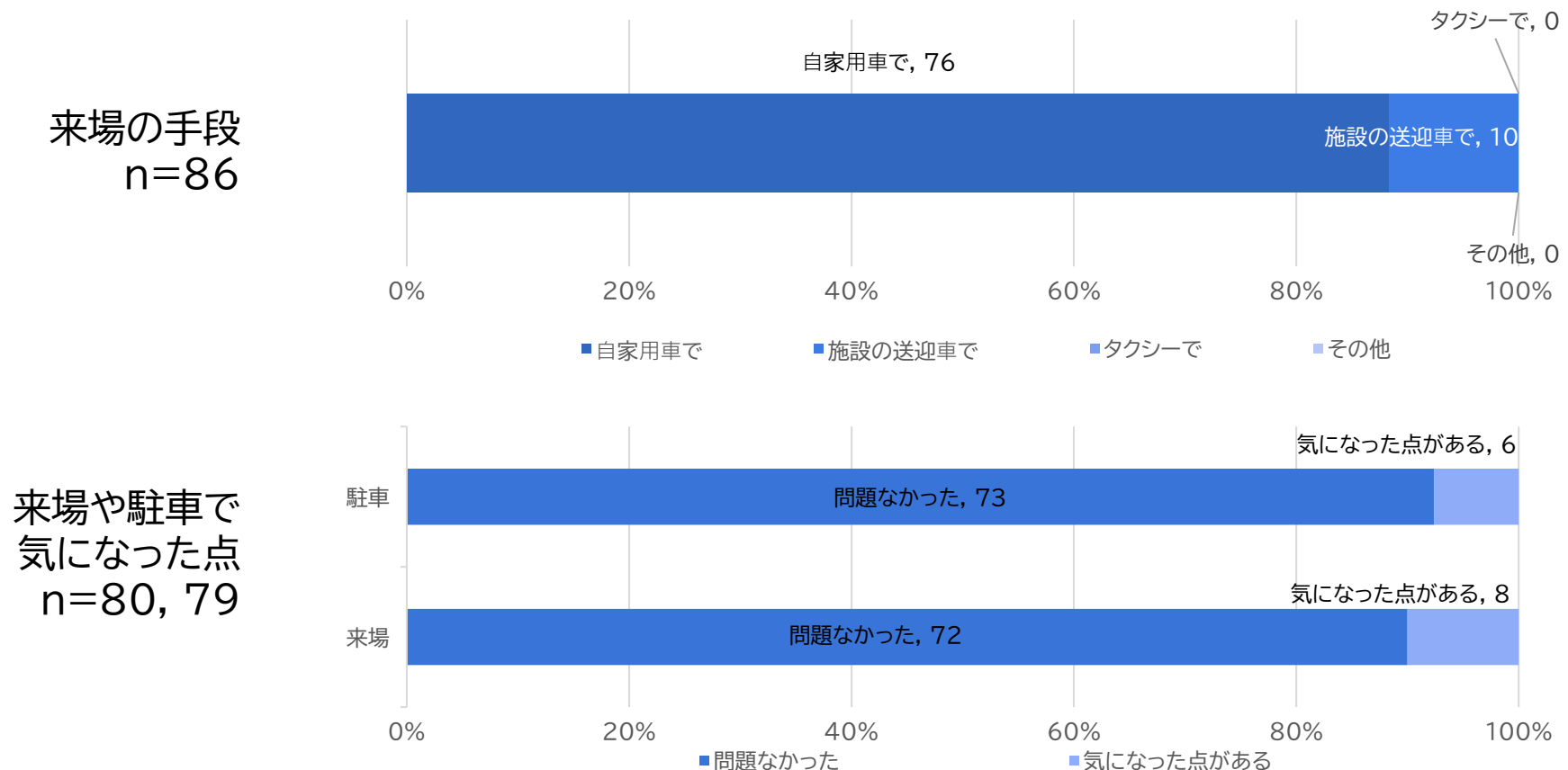
認知経路・同行者

認知経路は紹介が最も多く、一緒に来た人は家族が約6割を占め、最も多かった



来場の手段・問題点の有無

来場の手段は自家用車が約80%であった。来場や駐車場で気になった点があると答えた割合は10%未満であった



来場の手段・問題点の有無

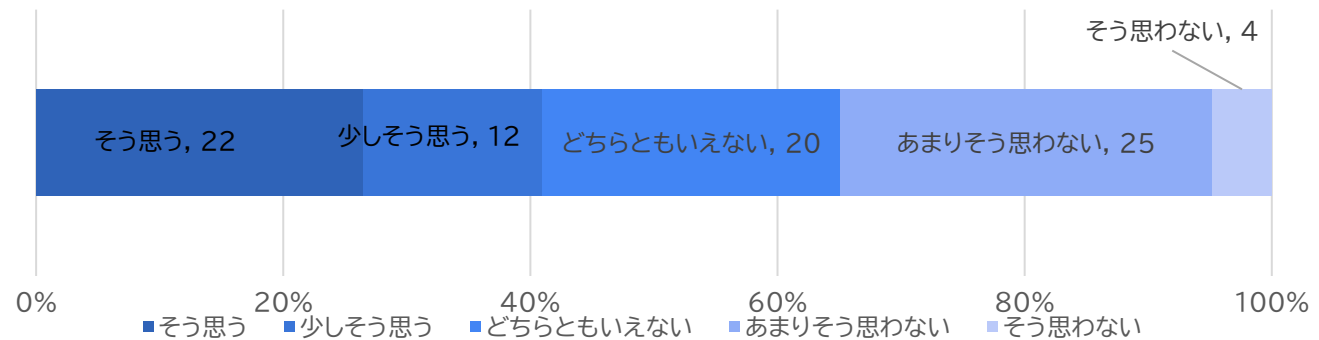
駐車や来場で気になった具体的な点には、大変な雨天のためという状況からくるもの、道がわかりづらい、駐車場が少ないなどが挙げられた

- 嵐の中ずぶ濡れになりながら車の誘導ありがとうございました
- 雨天のため受付をもう少し中よりにしても良かった
- 幹線道からへの道が分かりにくい
- 雨の中で先頭(前)を歩いてる人がケイタイをしながら歩くので迷惑だった。友達は追い越した。
- ナビで来たら裏口に案内されたので初めから入口に行けたらいいなと思った
- 身障者用駐車場が少ない
- 最初分らず建物下の駐車場に行ってしまった。
- ナビでスムーズに来ることができました。
- 雨天で濡れた。駐車場まで遠かった。
- ありがとうございました。
- 初来訪の場所だったので1人では不安でした。曲り角などにも案内があれば良かったと思います。
- 幹線道路から「きむたかホール」の入口を示す表示が見当たらなかった。
- きむたかホールはキレイな会場だが、道に迷ってしまった。
- 悪い天候の中大変だったと思います。ありがとうございました。案内の方に尋ねたが分からないということだったので、できたら天候の変化も考慮して対応して下さると助かります。

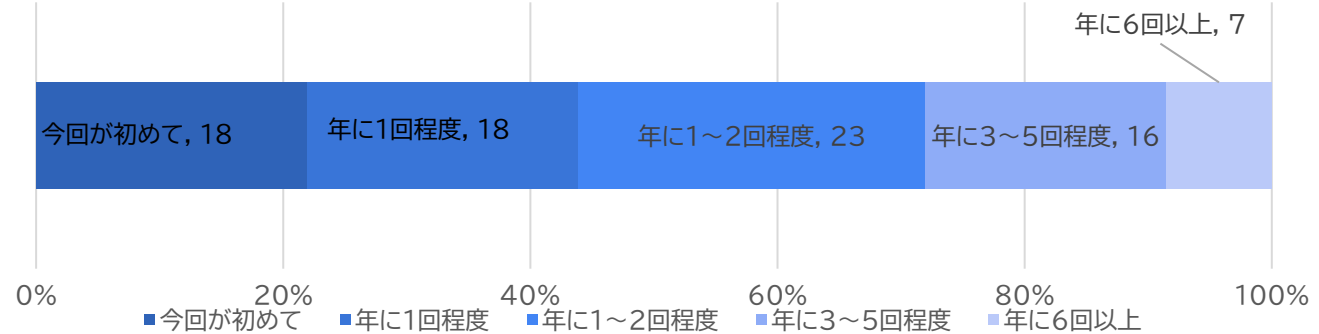
日頃の芸術文化の機会について

芸術文化の機会充実については、あまりそう思わない、そう思わないと回答した人が約38%であり、今回が初めての人も20%以上いた。音楽経験については半々であった

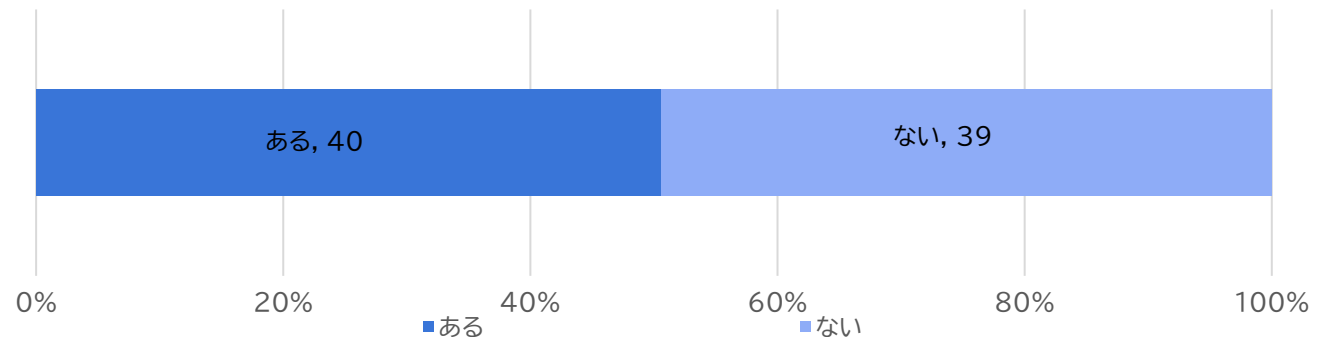
日ごろの芸術文化の
機会充実があると思うか
n=83



日ごろの芸術文化の
鑑賞、参加機会の頻度
n=82



今までの音楽の演奏経験
n=79



日頃の芸術文化の機会について

フリーコメントの一部。機会が少ないと感じるのは、気軽さのなさ・ハードルの高さ、情報のなさ、費用の高さ、機会の限定などが挙げられた

<機会が少ないことについての言及>

- 何かを見る・聴くなど、ほとんどが静かにじっとしていないといけないので、娘には難しい。娘は音楽が大好きなので、できるだけ機会があれば連れて行くようにしている。児童デイも、音楽に関連している所を選んでいる。
- 少し敷居が高く感じていたのと、身近に情報もなかった。
- 情報がない
- 劇場が少ない。コンサートのチケット代が高い
- コロナ禍だったことと、子供が落ち着かなかったので、気軽にみに行けなかった。
- 気軽に参加できる場が少なかったのもっと積極的に参加したいです。
- 行く機会がない
- コンサートや芸術文化の発表会が少ない
- 音楽鑑賞には興味があります。けどお金がかかると思ってこれまであまり行ってこなかった。
- ハードルの高くない無料のイベントには機会があれば、参加したいと思っている。そしてそこから興味のあるものを見つけていきたい。
- 沖縄だと芸術に触れる機会が限定されている

日頃の芸術文化の機会について

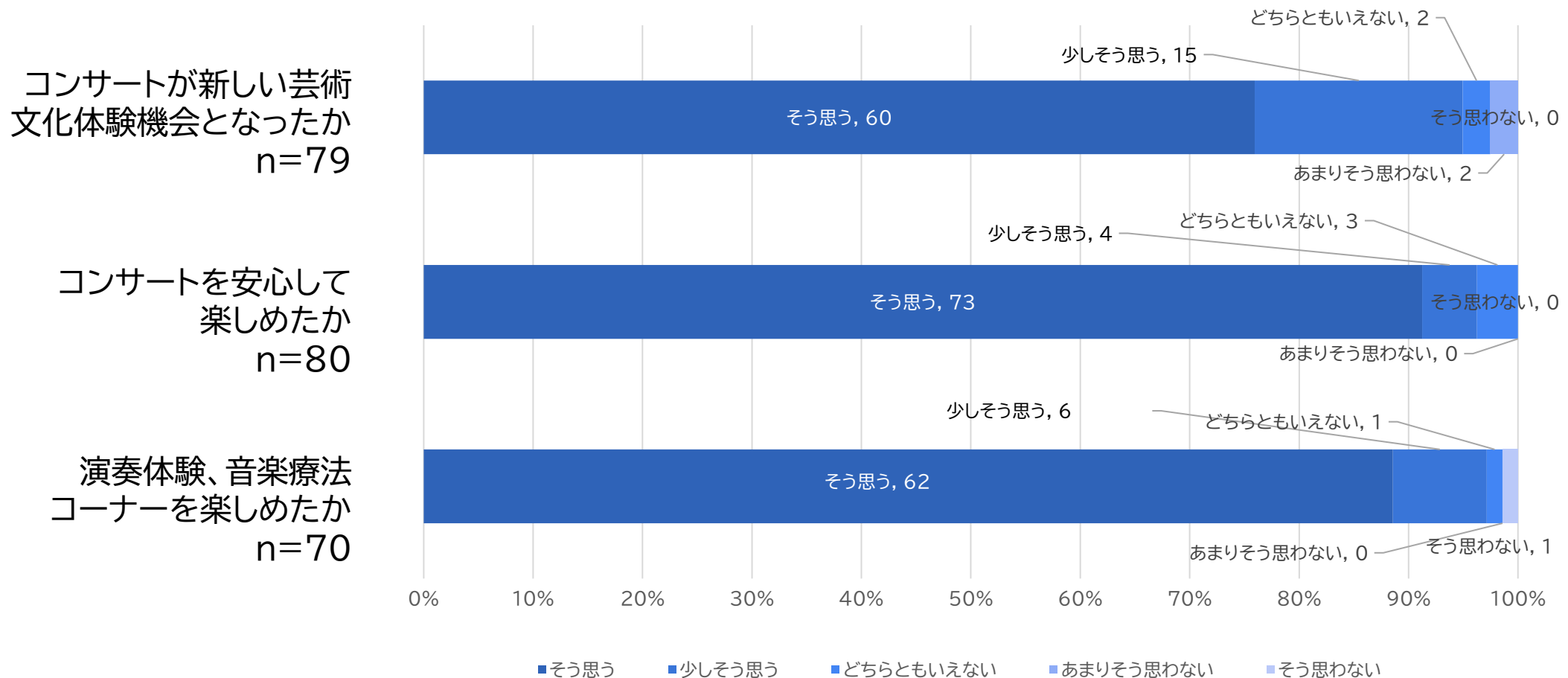
フリーコメントの一部。演奏の経験ありと答えた中には、部活動やピアノが複数挙げられた

<音楽の経験についての言及>

- サンシン,父の形見があったから
- 6歳~2年生までうるま市ジュニアオーケストラ(チェロ),2年生から中城ジュニアオーケストラ(チェロ),音楽部(トランペット),ピアノ
- 高校までピアノを習っていた。”
- 現在ウクレレサークルにて活動中
- 学生時代、吹奏楽経験がある
- 学生の時、吹奏楽部だった。
- 歌は好きで個人ではコーラス団体に参加しています。施設でも朝の会でみんなで歌っています。
- 芸術文化の良さがもっと広がれば良いと思う。
- 小学校の鼓笛隊
- 小中高校と部活動で吹奏楽部をしていました。
- 子供がピアノ習ってます。
- 友人の紹介でチャリティー演奏会に参加した事があります。

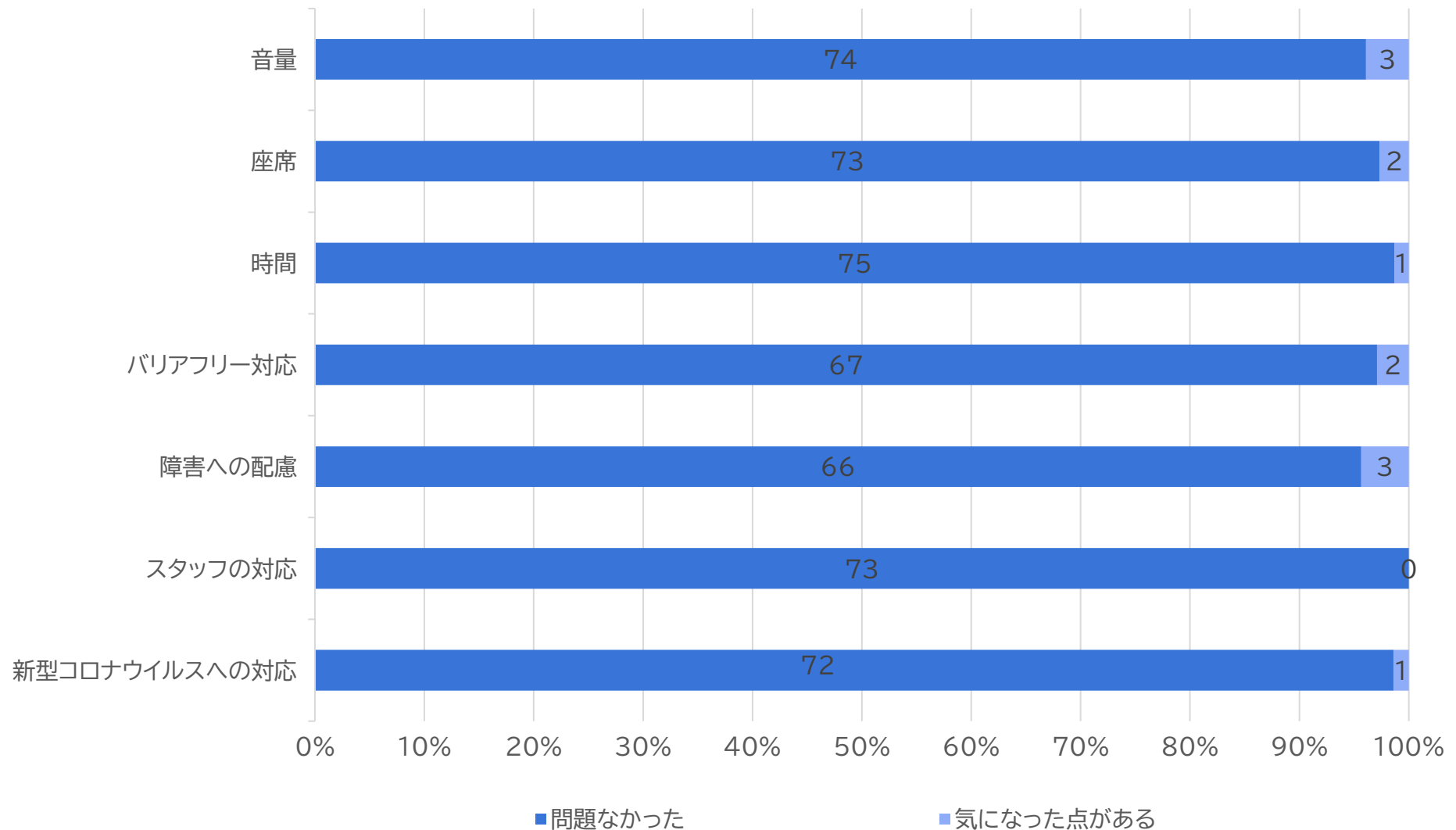
コンサートの感想

新しい体験機会となった、安心して楽しめた、音楽療法を楽しめた、全てについて95%以上が肯定的な回答であった



コンサートの感想(気になった点はあるか)

各項目気になる点については、全ての項目95%以上の回答が「問題なかった」であった



コンサートの感想(フリーコメント)

フリーコメントの一部。音声、手話の方の位置、悪天候に関するコメントが挙げられた。
その他、感謝の声も寄せられた

<気になる点として挙げられたもの>

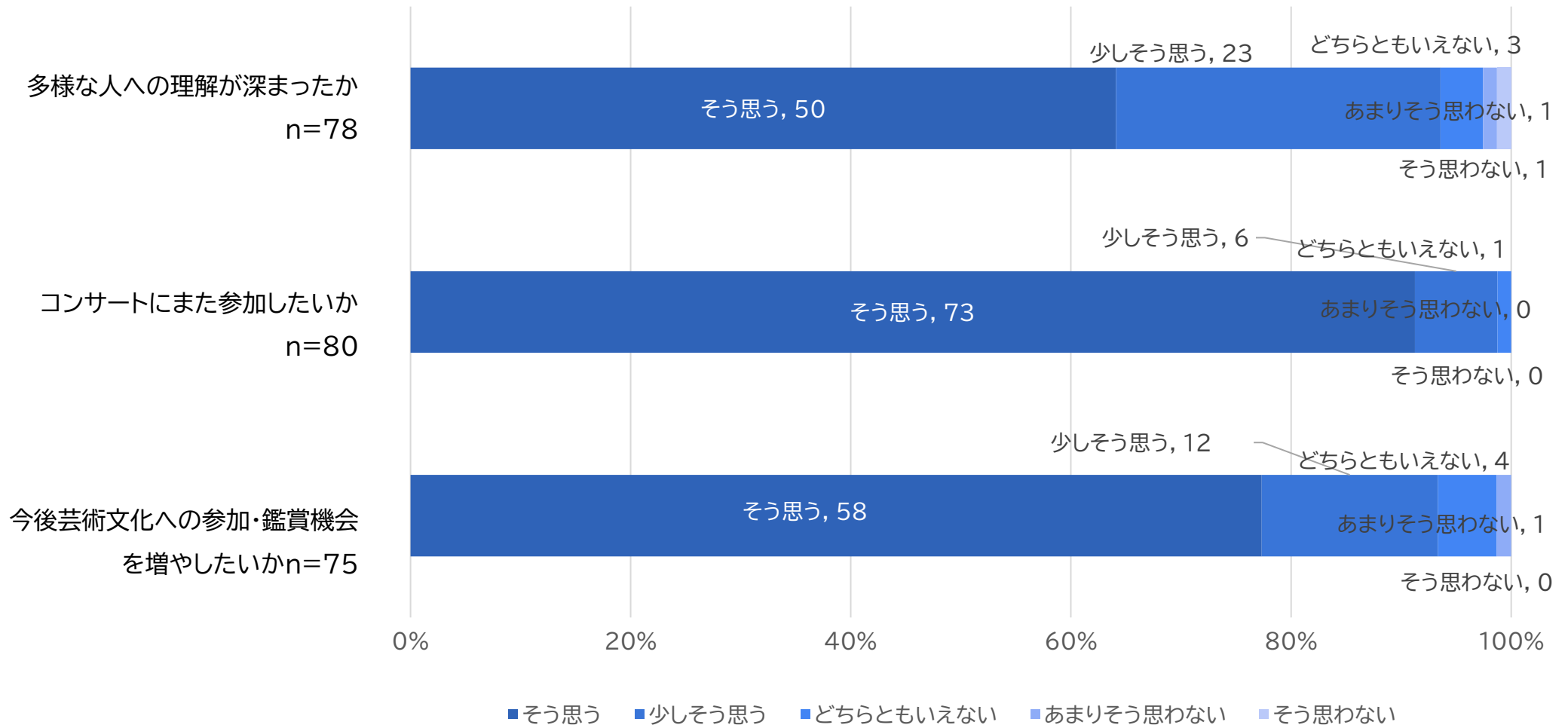
- 雨天時だったので駐車場からホール入口まで建物/屋根がついていたら移動に困ることなくスムーズに歩けたかな？と感じた。もしくはエントランスまで車が侵入できたら良かった
- ほとんどの問題はなかったのですが、司会の声が聴きづらいところがありました
- 大声で叫ぶ人が居て少し耳障りでした
- 駐車場から会場への案内がもう少しスムーズであれば良かったかなと思います
- 司会の人声が聞こえにくかった。手話の方のいる所が暗くて見えにくいと思った

<感謝の声>

- 観客と舞台が近くてとても楽しかったです。周りに気兼ねなくコンサートを楽しめて今日これた皆さん良かったですね。
- 気にならないいい曲でした。ありがとうございます。
- 雨で外は寒かったけど中は暖かくて安心した。
- スタッフの方の対応がすばらしかった。
- 対応良かった！
- 素晴らしい

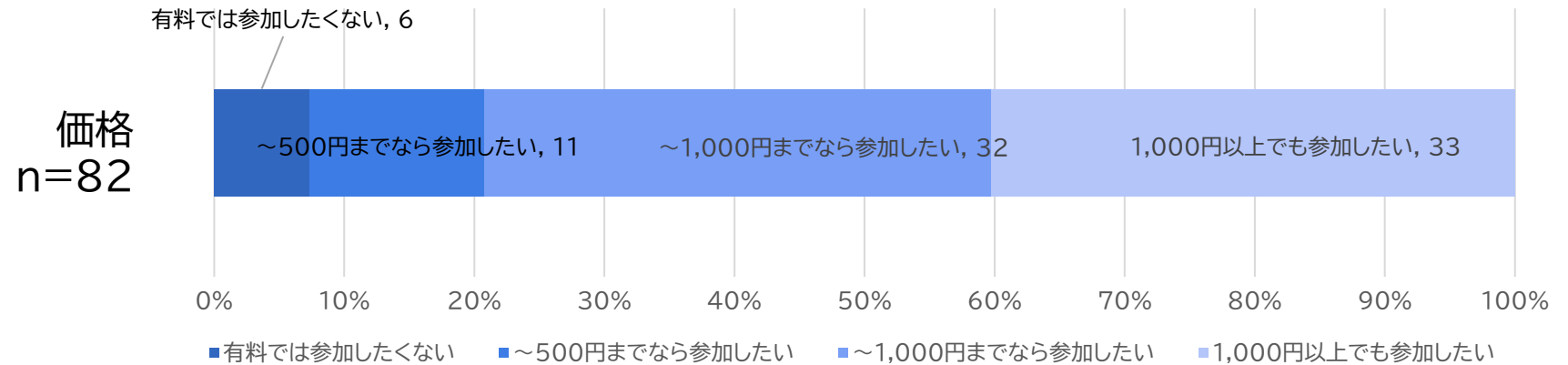
コンサートの感想(今後の意向)

多様な人への理解、コンサートへの参加意向、芸術文化の機会を増やしたいかの意向はいずれも肯定的な回答が90%を超えた

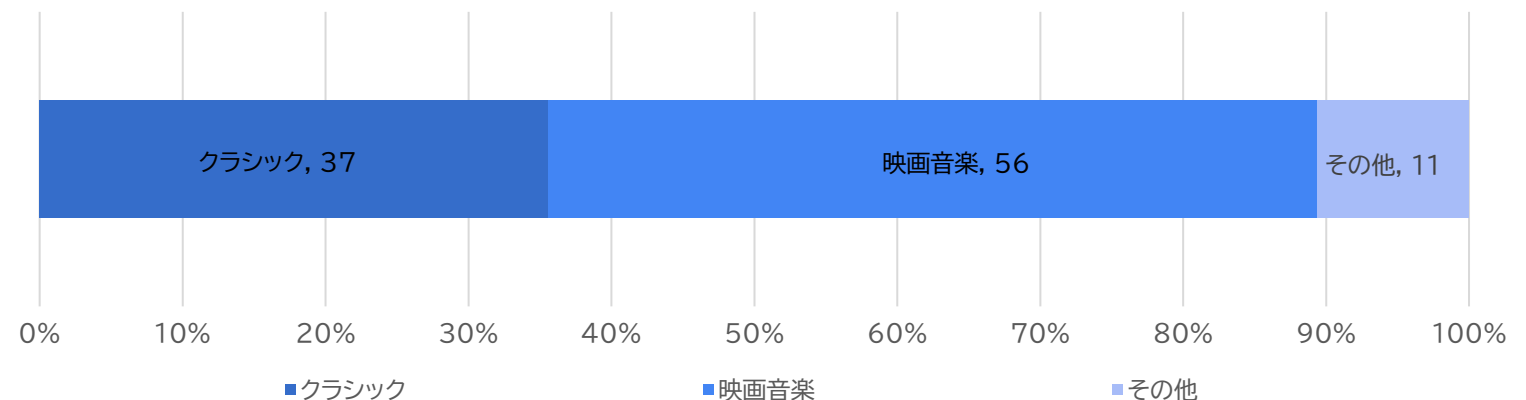


今後のコンサートへの希望

多様な人への理解、コンサートへの参加意向、芸術文化の機会を増やしたいかの意向はいずれも肯定的な回答が90%を超えた



今後聴いてみたい曲や
アーティストの希望
n=104(複数回答)



今後の楽曲に関する希望(フリーコメント)

映画、ポップス、子ども向け等に関するコメントが多く、分かりやすい曲、有名な曲といった希望が寄せられた

クラシック

- 運命(ベートーベン),カルメン,第九
- トルコ行進曲
- オペラ

ジャズ

- ジャズ(サリナジョーンズ)
- ジャズ

映画

- ミュージカル
- 戦場のクリスマス、久石譲のsummer
- バックトゥーザフューチャー
- アナと雪の女王
- メグライアンとかトムハンクスが出てた映画
- ディズニー音楽
- オードリー・ヘップバーン特集とか。西部劇
- ジブリのトトロや君をのせて、ディズニーの有名な曲

ゲーム

- ゲームなど
- ゲーム曲
- ゲーム音楽
- ゲーム音楽

子ども向け

- 童謡
- 子供たちが聞いてわかる曲
- 子供に人気の曲など(ミッキーマウスマーチとか、今流行の曲とか)

ポップス

- スピッツの音楽をオーケストラバージョンで
- ナツメロや今話題になっている曲があればもっと盛り上がったのかな
- 昭和の歌の演奏
- その年に流行った曲のクラシック風にアレンジした曲
- 嵐の「カイト」
- Jポップ
- アニメ音楽、ドラマの音楽など

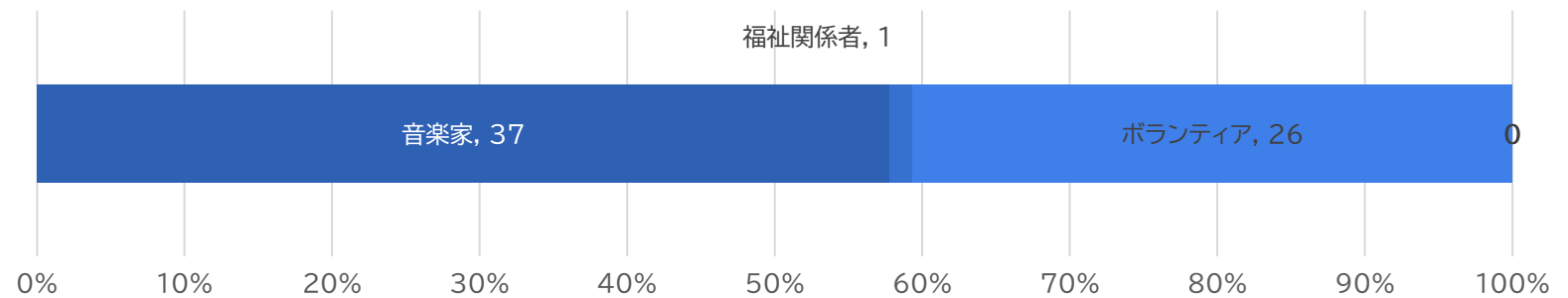
その他

- ボーカロイド
- 琉球民謡をオーケストラバージョンで
- うるま市出身のアーティスト
- 民族音楽
- 日頃音楽活動している方を紹介,ゲストで呼んで欲しい

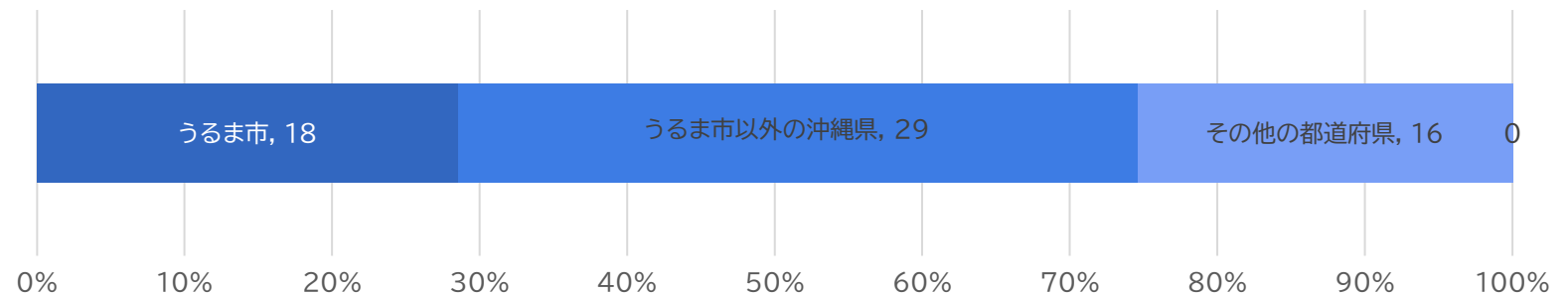
関係者の方の属性

回答者数64の内、6割程度は音楽家、ボランティアが4割程度であった。
居住地は開催地のうるまが3割程度であった

役割
n=64



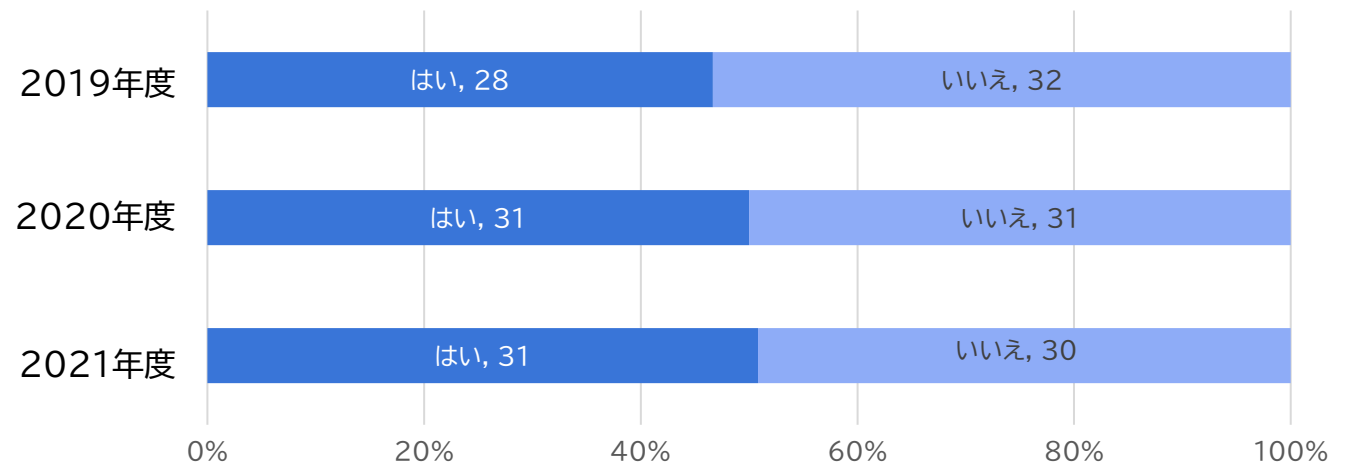
居住地
n=63



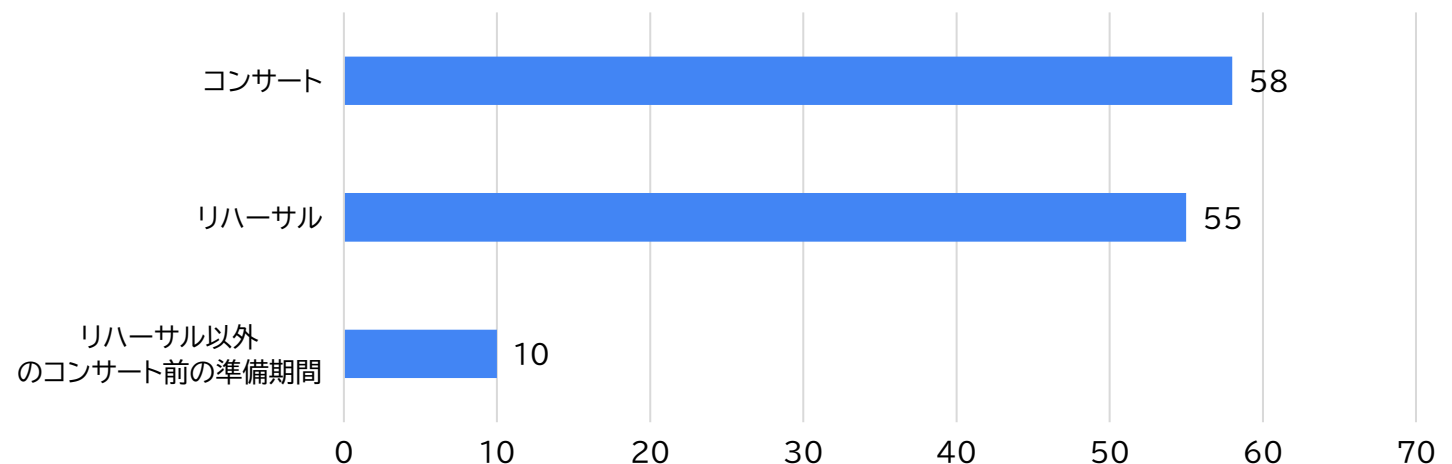
コンサートへの関わり方

関係者の方の過去の参加はどの年度も約半数であり、その約8割は音楽家であった

過去の美らサウンズ
コンサートへの参加実績
n=61, 62, 60



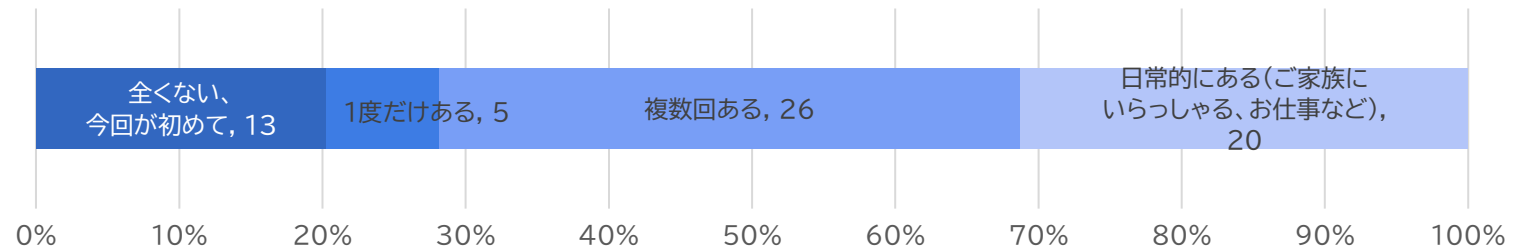
コンサートへの関わり方
n=62(複数回答)



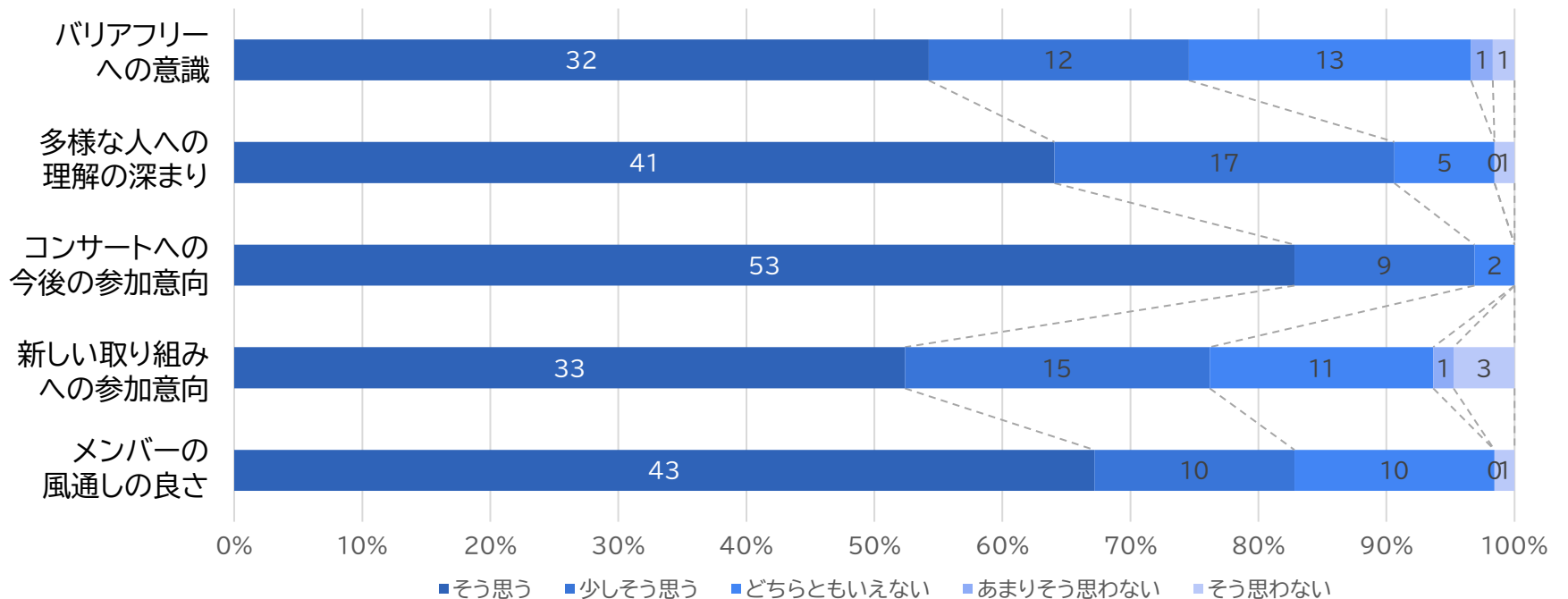
障害者との関わり

関係者は障害者の関わりとしては複数回ある、日常的にある方が7割を超えたものの、意識変化については約8割の方が肯定的な回答をした

障害者の方との
関わりの状況
n=64



意識変化・感じた
ことについて
n=59,64,64,
63,64



障害者との関わり(フリーコメント)

<障害者の方に関する意識>

障害者に対してのイメージが変わりました。てっきり音楽は聞かないと思っていた。

自分が思っていたよりも、周りを気遣えて、明るくて、元気のある方が多かった。

なんとなく前向きになったと感じます。

障害を持っている方にも偏見を持たずに協力してあげようと思えた

障害という言葉への意識が変わった

もっと気軽にオープンに接しても良いのだなと思いました。

<バリアフリーに関する意識>

今まではそもそも何に対してもバリアフリーなんて考えてなかったけど、今回参加してどうやったら障害者達が楽に過ごせるかなど様々なことを考えるようになりました。

やはり大事という再認識

足が悪い方など、大雨だと階段は少し危ないこともあるかなと思い、スロープを多くしてもいいのかなと感じました。

バリアフリーが必要な方にとってバリアフリーは大切な役割をしてるんだなと、バリアフリーの見方が変わりました

外に出たときにどんなバリアフリーがされているのか意識するようになった

社会に今よりももっとバリアフリーのものを増やしたほうが良いと思いました

もっとバリアフリーな環境づくりをした方がいい

スロープや、車椅子はもちろんのことでヒアリング席の用意とか親子で地べたに座って見れたりするところが発想になくびっくりしてこういうことで支えることもできるんだと実感したところです。

バリアフリーについての意識が高まった

自分にもできることがあると感じました

今回は聴覚障害者の困り感を知ることが出来た。

本物のバリアフリーを志す方々の存在に触れ生きる気力を得た。

事態に直面して初めてバリアフリーがいかに大切か(当人にとって大変か)気づかされます

障害者との関わり(フリーコメント)

<コンサートに関する意識>

バリアフリーコンサートは今後ぜひ必要だと感じます！

誰もがリラックスして音楽を楽しんでよい環境を作れること。

障害者の方々がもっと音楽に触れる機会が増えたらいいなと思いました

ひとつの同じ音楽を会場の人みんなで共有する場があるということで、音楽のバリアフリーが実現したと思う

障がい者、健常者関係なく音楽は楽しめることだから全ての人が楽しめるコンサートがもっとできる環境があると良いなあと感じた

障害を持った方でもリラックスした状態で演奏会を楽しむことができるという発見があった。

どんな音楽会でも必ず静かに聴かなければならないわけではなく、このように楽しければ声を出しても走り回ってもよいというコンサートがもっと増えると嬉しいです。

もっとこのコンサートを普及させたいです。

靴を脱いでリラックスしたところで聴いていただけると演奏する側にも良い影響があるように思った

会場には、いろんな方がいて、一人一人に合わせた配慮が必要であると感じました。

それぞれの障害によって音に対する反応や、感情表現の仕方が違うこと、それを素直にだしてもらえて、そして周りが一緒に受け止めて楽しんでもらえるよう環境作りがとても大切だと思いました。

お客様が聴きたいよう、座りたいよう、動きたいよう、自分の好きな聴き方で座ってらっしゃる中での演奏は、こちらとしてもリラックスできる。

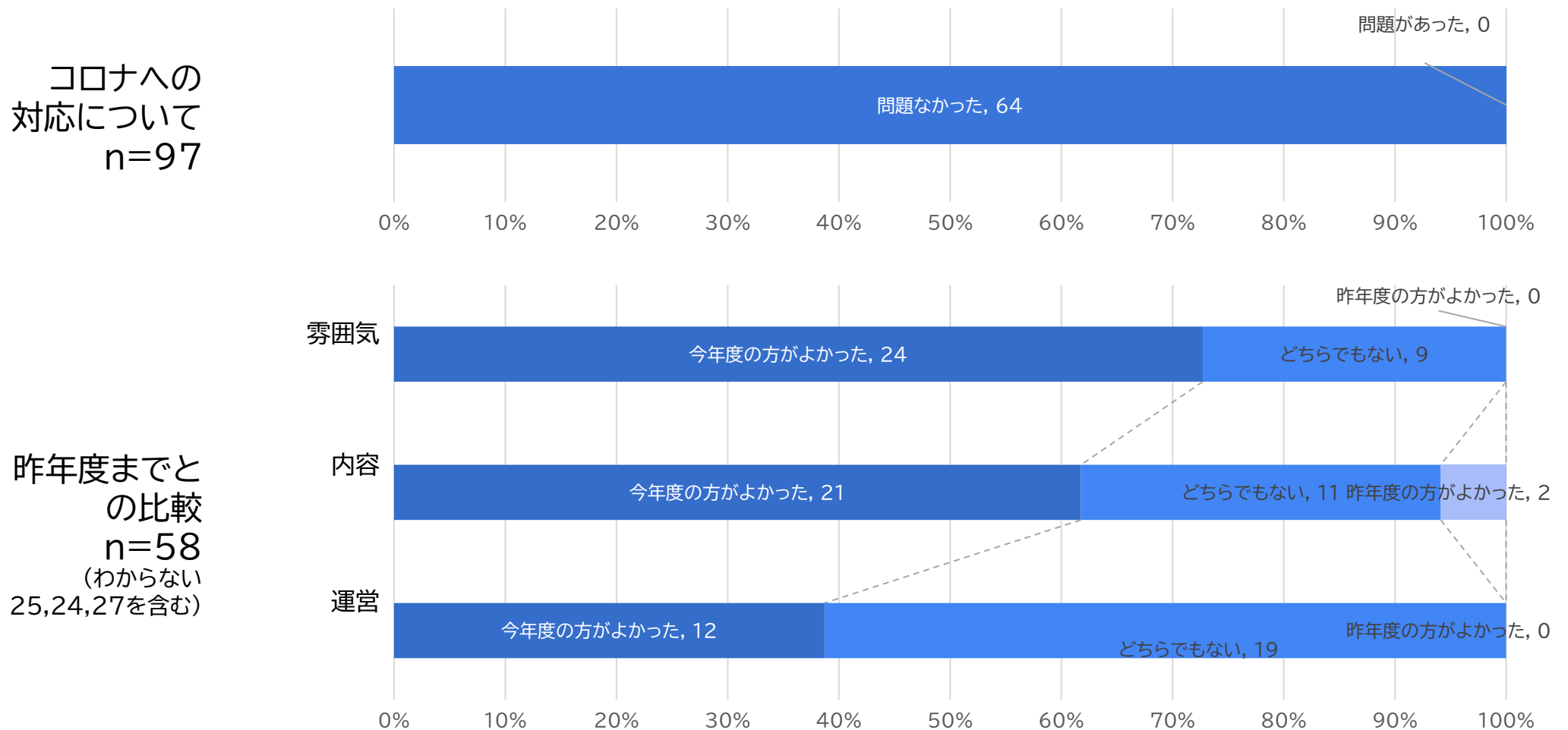
可能な限りそういった方々の演奏会ご来場が叶いますようお願いいたします。

人それぞれいろんな聴き方(聴こえ方)、楽しみ方がある。

障害があったとしてもその人なりの音楽の楽しみ方があるということ

コンサートに関する感想

コロナへの対応は全ての回答者が問題ないと回答し、また、雰囲気については特に今年度の方が良かったという回答が7割を超えた



コンサートに関する感想(フリーコメント)

<全体へのコメント>

ボランティアとして参加してすごい楽しかったです。コンサート自体も感動したし、いい体験ができました。

いろいろな人の笑顔を肌で感じて音楽の素晴らしさを知りました。

楽しかったです。最初は不安で上手に出来るか心配でしたがいざやってみると楽しくてあっという間に時間が過ぎていました最高でした。

今回のコンサートは演奏する側だったのでとてもドキドキしました。でも、最後まで緊張してても演奏できたのでとても嬉しかったです。

いつもだったら聴く側だけど、ボランティアを通して「こんなふうに進めてるんだ」などの新しい発見ができて良かったです。また、

普段は障害のある方と接する機会は無いので、会えて良かったなども思いました。

指揮者を体験させてもらったことは非常に良かったと思えました。一番前にマットを敷き座って演奏を聴く事が出来るのも良かった。

コンサートに関する感想(フリーコメント)

<会場実施・オンライン配信へのコメント>

やはり1番良いのは会場での実施だと思います。その場の臨場感や響きは生の音楽の素晴らしさをダイレクトに伝えられると思うので！ただ、どうしても会場に来られない方のためのオンライン配信も有意義ですね。できればオンデマンドで好きな時に視聴できるようなハイブリッド開催が理想だと思います。

会場では家族、支援者と一緒にオーケストラの臨場感溢れる音を体感でき、会場の雰囲気も味わうことが出来る。LIVE配信は施設や病院から出られない方も視聴して楽しむ事が出来るので、出来れば両方ハイブリッド型で開催出来ると良い。

会場での実施は音圧などをダイレクトに感じられ、それを体験する機会が少ないと思われる障害を持った方々に体験していただける機会を増やせると良いと思う

前回、オンラインで繋がるのは問題が多かったので、今回のようなホールでの開催だと音響も含めてスムーズな流れだったと思います。

何よりホールで直接生の演奏に触れる体験は得難いもの。オンラインの利点はアクセスの容易な点でしょうか。

実際にお客さんが入った公演の空気感(臨場感)はやはりいいですね！

お客様の前での演奏をオンライン配信する形が一番良いと思います。

ホールで演奏できて、心地よかったです。

去年はオンライン配信だったので、今年は会場で直接お客さんと音楽を共有することが出来、とても嬉しかったです。

配信も大きな役割があると思いますが、会場での実施はお客様の生の反応が伝わって来て、やはり良かったです。

大変かとは思いますが、配信があるとどこの地域の人にも鑑賞出来て宣伝がしやすい。

ヒアリング結果のまとめ(1/2)

通常のコンサートと美らサウンズコンサートを比較すると、その機会提供、着いてからの座席や移動の問題、会場での場の作り方等に違いがあると声が寄せられた

通常のコンサート

1. 機会がない

- そもそも、行けるコンサートが少ない
- 障害者が行きやすい・楽しめる取り組みが継続されないこともある

2. 着いてからの移動や座席の問題

- 行けても、席を選べない。人目を気にする。気を遣って自分も子どもも不安定になり、楽しめない
- 座席を選びづらく、また、座席に着くまでに気をもむことがある
- 通常のコンサートに行くには同行援護の部分でハードルがある

3. 行くのに勇気が必要、不安がある

- 通常のコンサートに行くには〇〇してはいけない、という形で不安がある

美らサウンズコンサート

1. 機会を継続して提供している

- 無料だと同行援護の方も入れるので助かる
- 毎年楽しみに参加している

2. 席を選べる。動線がよく配慮されている

- コンサート会場に着いた瞬間から声掛けが多く、移動から既に感動がある
- 会場内の動線やサポートが良く、待つことがないため心配が少ない

3. 安心して参加できる、互いの学びの場になる

- 人目を気にせず、自由な表現ができる。気を遣わず親子で安心して楽しめる
- 学びがあるのが親も子どもも楽しい
- 会場外でも聴ける環境があるのが良い
- 休憩がないため集中力が切れずに楽しめる
- 小さい子供も含めて楽しめるプログラム
- 障害のあるアーティストにとっても勇気が出る

ヒアリング結果のまとめ(2/2)

今後の要望や期待としては、継続、コンセプトを強化するための仕掛け・仕組みづくり、プログラムのさらなる展開、宣伝・PRの強化が挙げられた

1. (有料でもよいから)継続

- ・ 有料でもよいから継続してほしい
- ・ 有料でもよいから続けて欲しい

2. コンセプトを強化するための仕掛け・仕組み

- ・ お互いの学びの場としての目標を見失わずに、説明をする、障害のあるアーティストとのコラボのやり方など、それを促す仕掛けなどがあるとよい
- ・ 多様性のある「クラシックコンサート」というあり方が維持できるとよい

3. プログラムのさらなる展開

- ・ 楽器紹介、五感で楽しめるプログラムがあったら嬉しい
- ・ 美術分野などとの連携・コラボがあればより多くの人に参加できて、なお素敵だと思う
- ・ 指揮体験がとてもうれしく、最後に指揮者の方が声を掛けてくれたのも嬉しかった
- ・ クラシックに限らずもっと知っているような曲があれば、もっと楽しめた

4. 宣伝・PRの強化

- ・ 宣伝やPRは学校や協会との連携を含め、もう少し色々できるところがある

当日会場ヒアリング

回答者①

- 指揮者体験をした4歳の男の子とその母親
- 県立幼稚園のチラシで知った
- 音楽が好きで、貴重な機会をもらったと思っている。**指揮体験がとてもうれしく、最後に指揮者の方が声を掛けてくれたのも嬉しかった**
- 今後は、楽器体験などもあったら嬉しい

回答者②

- 三人兄弟(兄、姉、妹)で兄がストレッチャー。重度知的・肢体障害。母親
- 特別支援学校のチラシで知った
- 家族みんなで来られて良かった。特に太鼓の体験が良かった
- 大変な悪天候で、入り口が分かりづらかったのと、狭かったのが大変だった

回答者③

- 25歳の女性(知的障害・車いす)とその母親
- 美らサウンズコンサートの参加は2回目
- 音楽は好きで、J-pop、ジャニーズが特に好き。クラシック音楽は聴くこともあるが、普段は聴かない。通常のコンサート(ジャニーズのコンサート)も車いす対応は非常に良いと感じる。しかし、駐車場の問題があり、公共交通機関で来てください、と言われることもある。駐車場があっても、障害者用の駐車場が少ないこともある。シャトルバスが出ていても車いすが乗れなかったり、介護タクシーがつかまらなければとても大変
- 生のオーケストラや楽器を直接聴く機会はないので癒される
- 今回も良かったが、オペラが分かりづらく、知らない曲も多かったので退屈する子どもたちもいたと思う。自分自身、(CMやスーパーで聴いたことがある、学校で習ったことがあるなど)**もっと知っているような曲があれば、もっと楽しめた**と思う。クラシック音楽だけでなく、J-popのアレンジ、映画音楽や時期的にもクリスマスソングなどもあったらよかった。一回目はクリスマスソングがあった気がする。

後日ヒアリング①

回答者の方
について

- 20歳代半ばの難病、障害を抱える子どもを持つ母親
- 美らサウンズコンサートには沖縄で初めて開催された年から毎年参加している

障害について

- 難病、結節性硬化症
- 合併症:てんかん
- 幼少期はてんかん発作が抑えられず、脳に対するダメージが大きく、肢体不自由、重度心身障害という重複障害
- 発語なし、基本介助の生活。基本的に在宅。生活介護のサービスを利用しながら働いている

通常の音楽(舞台芸術)のコンサートについて思うこと

そもそも、行けるコンサートが少ない

- 音楽好きのため情報を取り、子が行けそうなものであれば一緒に行き、行けそうでなければ断念する。一人で行くことはあまりない。事業所が土日休みのため特に一人では行けない
- ステージに出る方が障害者だと障害者も行きやすいものが多いが、普通のコンサートは少ない

行けても、席が選べない。人目を気にする。気を遣って自分も子どもも不安定になり、楽しめない

- 車いすなのでハード面が気になる。→大体車いすは席が選べない。中央の端っこが定番。
- 自分がナーバスだと、息子もナーバス。人目を気にする時間が多くなる⇒子に伝わる⇒いらいらして指をかんだり、頭をかきむしったり。いつてんかん発作が起こるかわからない(頻度も高い)。奇声を出したりも気になってしまう
- 親子ともども安心して行けるものは子ども対象はよくあるが、成人対象はない。小学校低学年の時はあったが大人になってからは難しく、成人してからクラシックに出会えたことはない
- 行くことを決めても、前日にコンサート行くのやめようかな、と(周りに気を遣うこともあり)毎回葛藤がある。

後日ヒアリング①

美らサウンズ
コンサートの
感想・他のコン
サートとの違い

席を選べる。人目を気にせず、自由な表現ができる。気を遣わず親子で安心して楽しめる

- 前の方に座れるのに加え与那原では本当にどこでもOKで、席の選択ができることが非常に嬉しかったこんなことあっていいんですか！車いす席に誘導されると思いきや、好きなところへどうぞと言われ、戸惑うほど笑。
- トイレが近いところもよい。オムツ交換が必要になるので、途中入退場が自由なのも非常に助かった。
- 全く場違いのところで子が拍手するため通常の会場では止めさせようとするが、それは彼のペースを阻害していることでもあった。ここでは音を出してもいい、途中興奮すると足をばたつかせ車いすが揺れることもあるが本人が感じているのだ、親としてその姿を受容することができた。この自由な表現を受容できるのは、美らサウンズコンサートだから。他の知的障害の子どもたちを見ても、気にしなくていいよ、とお互いの家族同士が暗黙の了解をできている雰囲気がとてもよい。遠慮のない状態が、自分も子もストレスなく楽しめる理由。

コンサート会場に着いた瞬間から声掛けが多く、移動から既に感動がある

- 席に着くまでも不安に思うことがあるが、駐車場から席に着くまで声掛けが非常に多く、とても助かる。車いすの乗り降りからロビーから学生さんが走ってくるなど、声掛けがあり、車から降りた時点で感動している。今回も雨降りの中、みなさん子を優先し、声掛けしてくれたので嬉しい。おいで～というおもてなしがあり、心安心して、今しゃべりながらも泣きそうなくらいありがたい。みなさんでコンサートをつくりあげているというのがよく伝わる

後日ヒアリング①

美らサウンズ
コンサートへの
要望や期待

有料でもいいから継続してほしい

- 一番気になっているのは、今無料である。毎年楽しみに参加していて、この機会をなくしたくないので、この場をいつまで続けてもらえるんだろうという期待があるので、無料にするがゆえになくなってしまふ(財政的な問題で)のは、嫌だという思いがある。ぜひ続けて欲しいので、琉球フィルハーモニックさんの個人の会員に入ろうかな、と思ったりする。せめて私ができるのはそれくらい。いくらだったらくるか、というアンケートがあるが、福祉を使っている方は、招待とか無料とか慣れているので、実際有料になったら来るのか？という不安はあるけれど、ちょうどクリスマスシーズンにやってくれることもあって、二人にとってのクリスマス会だね、という風に思うので有料になっても行くという選択はある。兄弟がいたらどうだろう？という風に思う。でも、お金が無いから続けられません、というのは悔しい

楽器紹介、五感で楽しめるプログラムがあったら嬉しい

- ぜひやって欲しいと思っているのは、コントラバスの重低音の音など、個別の楽器の音を聞かせてもらうこと。木琴などは小学校で触ったりするけれど、肢体不自由だとそういった機会もないので、一つ一つの(身近じゃない)楽器に触れる、聞く、という体験があったらよい。指揮体験は人数が限られるので、奏法でどう変わるのかなど、五感でみんなが楽しめるような内容だと重度障害の人などももっと参加できると思う

特に新しい展開
への期待

重度の障害がある人が多い施設などは特に、訪問型のコンサートがあったら嬉しい

- 小さく楽しめるのなら、より一層よい部分もある。個人的にバイオリン奏者やオカリナ奏者の知り合いを事業所に連れてコンサートをしてもらったこともある。子どもの通う事業所は重度の人も多く、全員で出かけるのは難しい。リフト車は車いす2台まで事業所で外に出て、ていうのは身体の重度の人などは難しいので、訪問型コンサートはすごく嬉しい。バイクのハーレイの団体が来てくれて、その重低音を体験させてもらうものもあった。五感で感じるものが良いと思う。自分は好きだから情報を積極的に取りに行けるが、そうでない場合は機会がないため、訪問型があるともっと充実すると思う。

美術分野などとの連携・コラボがあればより多くの人に参加できて、なお素敵だと思う

- 美術館も連れて行くが見るだけになる。ワークショップがあっても身体が動けるだけの人達の場所は車いすで行けない、手が届かず、みんな楽しそうだね、で終わってしまう。一緒に参加できるようなプログラムがあったら嬉しい
- 音楽とアートのコラボがあったら素敵。音楽にあわせたフィンガーアートなど即席で楽しめるといい。妄想ですが、ホールの真ん中に大きな紙があって、歩ける子は歩きながら絵を描き、身体障害の子は周りで描いて、今日の音楽会の絵はこんな絵だったよ、と振り返るような場ができればよいと思う
- 絵を描く障害の方もたくさんいらっしゃる。例えば障害のある方がかいたイラストなどを使い、パンフレットやリーフレットを一緒に作ったりできれば、音が苦手な人たちも静のもので参加できるので、とても良いと思う。聴覚障害の方も見えるもので参加する形を考えてみたりできると、よりよいのではないかと思う。

後日ヒアリング②

回答者の方
について

- 重度の知的障害のある二人の子ども(25歳、21歳)の母親
- 美らサウンズコンサートは与那原公演から毎年参加している

障害について

- 小頭症、てんかん発作がある
- 歩行はできるが、手をつながないと危なく、転んでしまう。足が悪く、横歩きが難しい
- 発語が難しい

通常の音楽
(舞台芸術)の
コンサートに
ついて思うこと

通常のコンサートに行くには勇気が必要

- 以前支援学校からピアノリサイタルの招待券をもらったことがある。ほぼ一般の方だったが勇気をもって連れて行った。劇団四季も学校から招待券をもらったことがある。太鼓の演奏会に連れて行ったこともある。

座席を選びづらく、また、座席に着くまでに気をもむことがある

- 座席はどうしてもすぐ出られるようなところ、端に座ることになる。
- 難しいのは、待ち時間が発生してしまうのでいつも時間ギリギリに連れて行くことになること。早く行って良い座席につくことはできない。特に今だと消毒、体温測定で列ができるなどすると、子はもたつくのが苦手なので飽きてしまう。

後日ヒアリング②

美らサウンズ
コンサートの
感想・他の
コンサートとの違い

席を選べる。会場内の動線やサポートが良く、待つことがないため心配が少ない

- 足が悪く横移動が難しいが、会場の端でも真ん中に座れる。
- 学生のボランティアがたくさんいて検温も待つことなく向こうから来てしてくれる。マスクができない時もすぐにシールを貼ってくれるのもよい。QRコードのチケット、パンフレットが最後にももらえることも、待つ時間がなく流れとして良かった

学びがあるのが、親としても子どもとしても楽しい

- 今回に限らず、指揮者の方の音楽の説明が良い。初めてクラシックを説明付きで聴いたが、漠然と聞くよりも音楽の出来上がるバックグラウンドを聞くと保護者側が楽しくて、子どもたちもリズムをよく聴いている印象がある。
- 拍手のタイミングも指揮者の方が教えてくれたのが学びになってよかった。

様々な曲があるのが良く、会場外でも聴ける環境があるのが良い

- 静かな曲も大きな音の曲もあり、少し子がびっくりしていたところもあったが、経験させたい思いもあるのでよかった。子はリズムが好きだがそればかりでなく、色々な曲があったのがバランスがあつて良かった。
- 障害者アーティストとのコラボ(車いすの方や今回の読谷山さん)は、子二人とも身体が揺れるなど、集中して聴いている
- 最後の方でお手洗いに行ったが、その時にも音楽が流れていたのがよかった。会場の中が無理でも、外でもスピーカーで聴けるのはよい。特に自閉症のお子さんなど、同じ場所にいることが難しい場合にも音楽がそこにあるという環境というのが良いと思った。連れてでる親にとってもよいだろう

休憩がないため、子の集中力が切れずに楽しめる

- 休憩がないのが良い。休憩があると集中が切れてしまうので、席に戻すのが大変

後日ヒアリング②

美らサウンズ
コンサートへの
要望や期待

お互いの学びの場としての目標を見失わずに、それを促す仕掛けや説明があるとよい

- コンサートの最初に多様性を尊重するコンサートということについて説明をしたらよいのではないか。小さい子供、障害者、健常者もお互いが気持ちよく聞けるために、その前提を共有してもらえるとよい。例えば育児のことや障害者について説明があれば、その他の方にとっても学びになるのではないか。美らサウンズコンサートは学びの場としても捉えているので、どちらが我慢するということでなく、お互いが理解し合うところに着地点があるといい。
- 無料だからいいかな、と我慢している人がいたら、有料になったら「お金を払っているのに楽しめなかった」と来なくなってしまう。そうすると結局、障害者や子どもに偏ってしまう。多様性を尊重するのであれば、みんなが一緒に楽しめる、コンサートの中に障害者も子どももいて大丈夫、という着地点、目標を見失ってほしくない
- 障害者とのコラボもあるが、障害者という括り・紐づけではなく、例えば歌う方がいる場合には一人は障害者・一人は健常者という形で歌う方同士にとっても交流になるのはよいのではないか。
- 継続しないと子どもたちも学んでいかない。

多様性のある「クラシックコンサート」というあり方が維持できるとよい

- 体育館はちょっと違うなあと思った。今回はきちんとホールなのでよかった。体育館は音楽は聴けるが、「普通のコンサートの席」というのが希望である
- ただ、コンサートホールだと入る時に座りにくいというのがある。今回も小さい子のためにスペースがあるのは良いと思った
- 何をしてもいい、自由であっていいという場所ではなく、音楽も楽しむけれど、コンサートを聴くマナーを学ぶ、我慢も学ぶところ。集団でしか学べないこともある。

その他の点

- 司会の方のしゃべり口調が聞き取りにくかった。
- コンサートはあっという間で、あと一曲くらい聴けると嬉しい。
- 今回は激しい雨だったのと、駐車場の場所がわかりづらかったため、案内に混乱があったと思う。違う駐車場だと屋根もなく、そこから階段があったので、子どもにとっては傘を差しながら歩くのは危なかった。

後日ヒアリング③

回答者の方
について

- 沖縄県立盲学校元教諭
- 視覚障害を持つ
- 美らサウンスコンサートは今回が初めての参加

通常の音楽
(舞台芸術)の
コンサートに
ついて思うこと

通常のコンサートに行くには同行援護の部分でハードルがある

- 演劇はあまり見る機会がないが、クラシックでいうと、3年くらい前のNHK交響楽団はよかった。昔の話、学生のころの東交響のコンサートは良かったと思う。
- 視覚障害だと演奏会に行くのはハードルがある。視覚障害の方は音楽が好きの方がいっぱいいると思うが、中々足が運べない。一番大きいのは自分で動けないということ。同行援護という制度があり、その場所まで案内していただくのは可能だが、ホールの中の動きが少し心配。
- 演奏中にミュージシャンの方が観客に向かって合図したりするがそういったものに乗れない。クラシックでもスタンディングオベーションが起こっている様子がわからないこともないが、自分一人で立ったらどうしよう、と思うこともある。一緒に行く人がいれば行きやすいが、同行援護はホールの中までは今の制度では難しい

障害者が行きやすい・楽しめる取り組みが継続されないこともある

- (コンサートではないが)美術だと以前は、パートナーついていただいて、その方に美術の説明を言葉でしていただく、という取り組みがあったが、今も東京辺りではあるかもしれないが、沖縄ではほとんど見られなくなっている。またやって欲しい。
- 美術や博物館は、もう少し触れられるものがあれば良いと思う。大阪の民族博物館は触れるものがある。
- 博物館の単発の取り組みになってしまっていて、なくなってしまった。

後日ヒアリング③

美らサウンズ
コンサートの
感想・他の
コンサートとの違い

無料というのが、同行援護の方も入れるので助かる

- 今回無料なので、同行援護の方も入れるので良かったと思う
- 初めてみせてもらったが、色々配慮していただいているところで、演奏も含めてとてもよいコンサート、観客への配慮も含めてとても良かったと思った。
- 一般のクラシックはお行儀よく聞かなければいけないようだけれど、聞き手にも都合があり、身体の具合や子どもがいたりというところで配慮いただいたり、小さい子が前に並んで楽しそうにみたり、ストレッチャーの方も来られるし、裾野が広がる所良かった。

小さい子供も含めて楽しめるプログラム

- 高良さんのやった音楽療法もジャンベが良かった。小さい子たちが反応していたし、一つああいうものが入るとインパクトがあってよい。
- 休憩時間もあえてないのがよかったという気がした。休憩時間がカットの分、コンパクトになるし、小さな子にとってその方がよいこともあるだろう。
- ジュニアオーケストラの子たちの演奏もよかった。

障害のあるアーティストにとっても勇気が出る

- 障害のある方がステージに立つ機会があるのが読谷山さんにとってとっても良かった。彼女は専門でやっているわけでもないのに、機会がたくさんあるわけではない。初めて見た人にとっても、頑張っている人がいるというので勇気になったと思う

後日ヒアリング③

美らサウンズ
コンサートへの
要望や期待

楽器の紹介があるとなおよかった

- クラシックがあまりわからない方たちにとっては特に、楽器の紹介があると良かったと思う。ハープも沖縄には中々奏者もいないだろうから、その案内をしてもよいのではないかと思った

有料でもいいから続けて欲しい

- ぜひ続いて欲しい。無料の方が同行援護のこともあるので来やすいけれど、普通はお金を払ってでも好きなコンサートは来ようと思うだろうから、お金を出してでも行きたいという人はいるだろう

宣伝やPRは学校や協会との連携を含め、もう少し色々できるところがある

- コンサートの企画は毎年検討していくので良いと思うが、もう少し宣伝・PRを頑張ったらよいのでは。今回は視覚障害のオーディエンスがあまりいなかった。
- 各特別支援学校にもチラシは回っていたはずだけれど、意外とそういう方々が来ていないのが意外だった。ことに視覚障害の方が少なかったように思ったので、何かの形でチラシだけではなく、直接学校に訪問をして、特に読谷山さんなどが出演する場合は行って宣伝すると聴きに行く人が増えるのではないかと思う。学校ごと文書の取り扱いが違うと思う。盲学校だと集会での周知が無かったと思うので、あらかじめお願いをし、朝礼などで1分2分話してもらえると良いと思う。特に盲学校の場合は学校で宣伝してもらい、視覚障害者協会辺りが関わってくれば、同行援護のことを考えずに車で何人乗せられるなど、声掛けが始まれば行きたい人がぐっと増えると思う。個人では増えなくてもまとめて、ができるのととても良い。校長先生が理解ある人であれば、スクールバスを出してでも行くこともあるだろう